

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 25 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 2 件、副査 0 件）、修士（主査 2 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 3 名、前期課程 4 名、副指導教員：
 後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 11 名、留学生 4 名、
 研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 0 件、国際会議 1 件、会議報告 5 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	1.2 教育工学の立場から(活動報告集 8 章)	前迫孝憲	2012/2/1	水辺の教育メディア研究会	34
会議報告/口頭発表	International Ben Bear Gazette: Online International Digital Photo Story Monthly Exchange	Agnes Zaorski, Takanori Maesako, Cathy Timpone, Kenzo Yoneda, Spence Zaorski	2011/6/1	ISTE2011	
会議報告/口頭発表	全画面やフレームレートという概念を排除した新しい表示方式の提案	森川治、戸田賢二、前迫孝憲	2011/7/1	電子情報通信学会技報	CPSY2011-8 / DC2011-14 pp.15-22
会議報告/口頭発表	遠隔交流学习における教員の授業準備に関する分析—「超鏡」による大阪と大分の小学校間の実践をもとに—	中澤明子、奥林泰一郎、前迫孝憲	2011/10/1	日本教育工学会研究報告集	JSET11-4
会議報告/口頭発表	情報学教育の基盤と人材育成—課題対応・デザイン力でキャリアパスに夢を—	前迫孝憲	2011/12/1	第1回情報学教育推進コンファレンス	
会議報告/口頭発表	計算課題遂行時における教師-学習者間の神経科学的検討	岡本尚子、黒田恭史、前迫孝憲	2012/3/1	教育システム情報学会研究報告(特集論文研究会)	26(7)3-10
会議報告/口頭発表	文字または音声による設問の判断への影響—助詞「は」や「を」を含む課題文に対する判断時間からの一検討—	辻岡圭子、辻岡千春、前迫孝憲	2012/3/1	教育システム情報学会研究報告(特集論文研究会)	26(7)19-26
解説・総説	変化への対応と研究者の役割	前迫孝憲	2012/1/1	教育システム情報学会誌	29(1)1-2

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名、副指導教員：
 後期課程 1 名、前期課程 3 名）、卒業研究指導学生数 1 名、留学生 名、
 研究生 名、その他（ 特任研究員 1 名 ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 7 件、国際会議 4 件、会議報告 15 件、
 大学等の報告 1 件、解説・総説 2 件、書評 0 件、
 その他（新聞、雑誌に研究内容を記事として掲載された）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	ワーキングメモリ, 子安増生・二宮克美(編)「キーワードコレクション認知心理学」新曜社, 227 ページ	荻阪満里子	2011/7/1	新曜社	134-137
著書	中央実行系, 子安増生・二宮克美(編)「キーワードコレクション認知心理学」新曜社, 227 ページ	荻阪満里子	2011/7/1	新曜社	138-141
学術論文	Fist person perspective effects on the theory of mind without self-reference: An fMRI study.	Otsuka, Y., Osaka, N., Yaoi, K., & Osaka, M.	2011/4/1	PLoS ONE	6(4) e19320
学術論文	もの忘れ高齢者のリーディングスパンテストと局所脳血流の特徴	吉村貴子・荻阪満里子・前島伸一郎・大沢愛子	2011/5/1	生理心理学と精神生理学	28(3), 199-208
学術論文	Anterior medial prefrontal cortex exhibits activation during task preparation but deactivation during task execution	Koshino, H., Minamoto, T., Ikeda, T., Osaka, M., Otsuka, Y., & Osaka, N.	2011/8/1	PLoS ONE	6(8): e22909
学術論文	Neural correlates of delicate sadness: an fMRI study based on the neuroaesthetics of Noh masks.	Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., & Osaka, M.	2012/1/1	Neuroreport	23, 26-29
学術論文	日本語版リーディングスパンテストにおける方略利用の個人差	遠藤香織・荻阪満里子	2012/2/1	心理学研究	82(6),554-559

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	Motion implied by static line-drawing image of visual art activates the human motion-sensitive cortex: An fMRI study	Osaka, N., Matsuyoshi, D., Ikeda, T., & Osaka, M.	2011/8/1	Perception	40, Supplement, 16

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 2 件、国際会議 2 件、会議報告 2 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 7 件、書評 0 件、その他（3 件）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	「四川大地震における中国 NGO の救援活動」に関する対話	渥美公秀・陳穎	2011/7/1		
学術論文	被災地のリレーから広域ユイへ	渥美公秀	2012/3/1	人間関係研究	
学術論文	災害復興過程に接続する災害ボランティア	渥美公秀	2012/3/1	藤森・矢守編 災害心理学 福村出版	
学術論文	災害時のボランティアの組織論	渥美公秀	2012/3/1	組織科学	
学術論文	災害ボランティアから構想される社会	渥美公秀	2012/3/1	岡田先生退官 記念論集	
国際会議 (proceedings なし)	The March 11, 2011 Tohoku Japan Earthquake and Tsunami: Response and Recovery Issues for Japan and the International Community.	Tomohide Atsumi	2011/7/1		
国際会議 (proceedings なし)	Foot massage procedure: Close and collaborative listening to disaster survivors.	Tomohide Atsumi	2011/7/1		
大学・研究所等の報告	小千谷の皆様の想いを感じ入る	渥美公秀	2011/12/1		
解説・総説	災害と共生社会: 災害ボランティア活動が拓く可能性	渥美公秀	2011/12/1	兵庫教育	729,6-9
解説・総説	どうして災害時にボランティアが必要なのか?	渥美公秀	2011/12/1	消防と科学	
解説・総説	災害ボランティア活動: 被災地で望まれる活動の仕方	渥美公秀	2011/12/1	アニムス	16,3
解説・総説	東日本大震災における災害ボランティアが拓く可能性	渥美公秀	2011/12/1	部落解放研究	193,32-42.

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
解説・総説	災害コミュニケーション:災害ボランティア活動を事例として	渥美公秀	2011/12/1	東北学	28,164-171.
解説・総説	ボランティア行動学と東日本大震災	渥美公秀	2011/12/1	學士会会報	
解説・総説	災害ボランティア活動とコミュニケーション	渥美公秀	2012/3/1	日本語学	
その他	東日本大震災における協働的实践	渥美公秀	2011/12/1		
その他	大震災にどう備えるか	渥美公秀	2011/12/1		

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	ドゥルーズにおけるヒューム 経験の超出と想像力＝構想 力の役割	檜垣立哉	2011/12/1	『思想』	1052号 p181-194
学術論文	「種の論理」における「種」とは 何か	檜垣立哉	2012/1/1	『思想』	1053号 246-260
学術論文	逆向き幽霊としての子供	檜垣立哉	2012/2/1	現代思想	40-3 p147-157
解説・総説	賭博哲学第六回 母と娘	檜垣立哉	2011/4/1	umajin	2011年 5月号 94-95
解説・総説	賭博哲学最終回 ダービー馬 の孤独	檜垣立哉	2011/5/1	umajin	2011-6 25号 92-93
解説・総説	競馬場の追憶 平成競馬史 名勝負編1 第138回天皇賞	檜垣立哉	2011/5/1	ROUNDERS	vol1 74-82
解説・総説	自然は乱暴であるにきまっ ている	檜垣立哉	2011/6/1	思想としての3・11	p131-140
解説・総説	偶然性の日本文化(東北関東 大震災に際して)	檜垣立哉	2011/6/1	理	27 p2-3
解説・総説	競馬場の追憶 平成競馬史 名勝負編2 第115回天皇賞	檜垣立哉	2011/11/1	ROUDERS	vol2 116-119
書評	現実的なるものとしての生	檜垣立哉	2011/6/1	図書新聞	3016 p5
書評	金森修『<生政治>の哲学』 書評	檜垣立哉	2011/9/1	フランス哲学・思 想研究 16	16号 137-141
その他	ドゥルーズ哲学をエピステモロ ジーとして読む	小泉義之・米 虫正巳・檜垣 立哉	2011/6/1	VOL05	05号 p256-274

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 6 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 2 名、副指導教員：
 後期課程 2 名、前期課程 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 2 名、
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 3 件、学術論文 1 件、国際会議 5 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 3 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	Gender Politics of War Memory: The Asia-Pacific and Beyond	Muta Kazue, Beverley Ann Yamamoto eds, Kimura Ryoko, Fujime Yuki, et al.	2012/3/1	大阪大学出版 会	
著書	競合するジャスティス---ローカ リティ・伝統・ジェンダー	牟田和恵, 平 沢安政, 石田 慎一郎, 友枝 敏雄, 山本ベ バリーアン, 木 村涼子, 玉城 福子他	2012/3/1	大阪大学出版 会	
著書	『コンフリクトと移民』『親密な関 係の交渉:在日の国際結婚カッ プルのライフスタイル』	池田光穂編, 山本ベバリーア ン	2012/3/1	大阪大学出版	
学術論文	(Re)locating Gendered War Memories in the Asia Pacific	Beverley Anne Yamamoto	2012/3/1	Trans Humanities	5(1)
国際会議 (proceedings あ り)	(Re)locating gendered War Memories in North East Asia & Beyond	Beverley Anne Yamamoto	2011/11/1	Ewha HK International Conference: Cultural Hybridity and Migrating Identities Conference proceedings	
国際会議 (proceedings な し)	Incidental Memories of Japanese Women in Wartime	Beverley Anne Yamamoto	2011/5/1		

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings なし)	Sexual intimacy and Single Women in Japan	Yamamoto, Beverley Anne	2011/7/1		
国際会議 (proceedings なし)	Drawing on UK know-how to design an all-English undergraduate program for a Japanese University	Beverley Anne Yamamoto	2011/11/1		
その他	A comparative study of experience and health impact of teen dating violence	Yamamoto, Beverley Anne and Rikitake, Yumi, Paul, Saumik	2011/6/1		

所属： 先端人間科学 氏名： 奥林 泰一郎

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 0 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：
 後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	Comparing the Characteristics of Text-Speak Used by English and Japanese Students	Jean Underwood, Taiichiro Okubayashi	2011/4/1	International Journal of Cyber Behavior, Psychology and Learning	1(2)
会議報告/口頭発表	International Ben Bear Gazette: Online International Digital Photo Story Monthly Exchange	Agnes Zaorski, Takanori Maesako, Cathy Timpone, Kenzo Yoneda and Spence Zaorski	2011/6/1	ISTE2011	
会議報告/口頭発表	遠隔交流学習における教員の授業準備に関する分析—「超鏡」による大阪と大分の小学校間の実践をもとに—	中澤明子, 奥林泰一郎, 前迫孝憲	2011/10/1	日本教育工学会研究報告集	JSET 11-4

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 18 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 2 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程 4 名、前期課程 8 名）、卒業研究指導学生数 7 名、留学生 1 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 6 件、国際会議 0 件、会議報告 9 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 2 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	現代の認知心理学4 注意と安全	原田悦子・篠原一光	2011/10/1	北大路書房	
学術論文	高齢者と若年者による歩行所要時間評価に関する実験的研究	篠原一光	2011/4/1	交通科学	Vol.41, No.2, 41-46
学術論文	フェイントが含まれる事態におけるテニスプレーヤーの予測技能	宮本晃希, 内藤宏, 木村貴彦, 篠原一光, 三浦利章	2011/6/1	人間環境学研究	9(1), 13-19
学術論文	テニス熟練者の予測技能 — フェイントが含まれる事態での検討 —	内藤宏, 宮本晃希, 木村貴彦, 篠原一光, 三浦利章	2011/7/1	VISION	23, 115-119
学術論文	高齢者・視覚障害者の道路横断支援のためのLED付音響式信号装置の実用化可能性検証	柳原崇男, 篠原一光, 高原美和, 三星明宏, 長山泰久, 永礼正次, 篠原耕一	2011/9/1	交通工学	46,4,65-74
学術論文	視空間的記憶への指差の影響	内藤宏, 篠原一光, 松井裕子, 彦野賢	2011/10/1	INSS JOURNAL	18, 21-27
学術論文	妨害音声に対する指差呼称の効果 — 業務としての指差呼称経験の影響 —	松井裕子, 篠原一光, 内藤宏, 彦野賢	2011/10/1	INSS JOURNAL	18, 14-20
会議報告/口頭発表	回答しやすいチェックリストによる主観的メンタルワークロード評価の事例報告—指差呼称を伴った課題遂行への適用—	篠原一光, 内藤宏, 松井裕子, 彦野賢	2011/6/1	日本人間工学会第52回大会講演集	200-201
会議報告/口頭発表	指差呼称の効果に関する基礎研究(1)—妨害音声に対する抑制における業務経験の影響—	松井裕子, 篠原一光, 内藤宏, 彦野賢	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1209

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	指差呼称の効果に関する基礎研究(2)—タスク・スイッチング—	篠原一光,内藤宏,松井裕子,彦野賢	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1210
会議報告/口頭発表	指差呼称の効果に関する基礎研究(3)—空間的記憶の検討—	内藤宏,篠原一光,松井裕子,彦野賢	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1211
会議報告/口頭発表	外乱により誘発されるエラーの発生メカニズムに関する実験的研究(2)	太刀掛俊之・篠原一光・臼井伸之介	2011/9/1	日本応用心理学会第77回大会発表論文集	43
会議報告/口頭発表	3次元空間における注意分布型の検討—直接観察と鏡を介した観察の比較—	木村貴彦,内藤宏,篠原一光,三浦利章	2011/11/1		
会議報告/口頭発表	複数物体追跡時の視覚的注意と変化検出	吉田周平,内藤宏,三浦利章,篠原一光	2011/12/1	関西心理学会第123回大会発表論文集	35
会議報告/口頭発表	鏡を介した空間に対する注意配分の検討	木村貴彦,内藤宏,篠原一光,三浦利章	2012/3/1	モバイル'12研究論文集	101-102
会議報告/口頭発表	経過時間の主観的評価に影響する待機中の情報表示	篠原一光,林芙美,新井田統	2012/3/1	モバイル'12研究論文集	99-100
解説・総説	高齢交通参加者	篠原一光	2011/4/1	交通科学	Vol.41, No.2, 1-2
解説・総説	「自動車の研究開発と交通心理学」特集にあたって	篠原一光	2011/9/1	国際交通安全学会誌	36,1,4-5

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 2 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 4 件、国際会議 0 件、会議報告 7 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	フェイントが含まれる事態におけるテニスプレーヤーの予測技能	宮本晃希, 内藤宏, 木村貴彦, 篠原一光, 三浦利章	2011/6/1	人間環境学研究	9(1), 13-19
学術論文	テニス熟練者の予測技能 — フェイントが含まれる事態での検討 —	内藤宏, 宮本晃希, 木村貴彦, 篠原一光, 三浦利章	2011/7/1	VISION	23, 115-119
学術論文	視空間的記憶への指差の影響	内藤宏, 篠原一光, 松井裕子, 彦野賢	2011/10/1	INSS JOURNAL	18, 21-27
学術論文	妨害音声に対する指差呼称の効果 — 業務としての指差呼称経験の影響 —	松井裕子, 篠原一光, 内藤宏, 彦野賢	2011/10/1	INSS JOURNAL	18, 14-20
会議報告/口頭発表	回答しやすいチェックリストによる主観的メンタルワークロード評価の事例報告—指差呼称を伴った課題遂行への適用—	篠原一光, 内藤宏, 松井裕子, 彦野賢	2011/6/1	日本人間工学会第 52 回大会講演集	200-201
会議報告/口頭発表	指差呼称の効果に関する基礎研究(1)—妨害音声に対する抑制における業務経験の影響—	松井裕子, 篠原一光, 内藤宏, 彦野賢	2011/9/1	日本心理学会第 75 回大会発表論文集	1209
会議報告/口頭発表	指差呼称の効果に関する基礎研究(2)—タスク・スイッチング—	篠原一光, 内藤宏, 松井裕子, 彦野賢	2011/9/1	日本心理学会第 75 回大会発表論文集	1210
会議報告/口頭発表	指差呼称の効果に関する基礎研究(3)—空間的記憶の検討—	内藤宏, 篠原一光, 松井裕子, 彦野賢	2011/9/1	日本心理学会第 75 回大会発表論文集	1211
会議報告/口頭発表	3次元空間における注意分布型の検討—直接観察と鏡を介した観察の比較—	木村貴彦, 内藤宏, 篠原一光, 三浦利章	2011/11/1	関西心理学会第 123 回大会発表論文集	59

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	複数物体追跡時の視覚的注意と変化検出	吉田周平,内藤宏,篠原一光,三浦利章	2011/11/1	関西心理学会第123回大会発表論文集	35
会議報告/口頭発表	鏡を介した空間に対する注意配分の検討	木村貴彦,内藤宏,篠原一光,三浦利章	2012/3/1	モバイル'12 研究論文集	101-102

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 12 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 2 件、副査 0 件）、修士（主査 6 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 5 名、前期課程 7 名、副指導教員：後期課程 2 名、前期課程 3 名）、卒業研究指導学生数 5 名、留学生 2 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 4 件、学術論文 20 件、国際会議 12 件、会議報告 2 件、大学等の報告 2 件、解説・総説 2 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書(共著)	現代日本のコミュニケーション研究-日本コミュニケーション学の足跡と展望	日本コミュニケーション学会編(大坊郁夫・宮原 哲)	2011/4/1	三修社	56-66 頁
著書(共著)	キーワードコレクション社会心理学	二宮克美・子安増生編(大坊郁夫)	2011/6/1	新曜社	96-99, 202-205
著書(編著)	幸福を目指す科学ーwell-beingの研究ー	大坊郁夫編	2012/2/1	ナカニシヤ出版	
学術論文	対人認知課題を用いた社会的スキル・トレーニングの研究	松山早希・大坊郁夫	2011/5/1	電子情報通信学会技術研究報告	111(59), 183.-188.
学術論文	親密な観衆が存在するときの複数観衆問題ー同性観衆の存在が異性への身体的魅力呈示に及ぼす影響ー	笠置 遊、大坊郁夫	2011/6/1	応用心理学研究	36 巻, 136-137.
学術論文	関係開始スキルがパーティ場面における コミュニケーション行動に及ぼす影響	前田奈穂・大坊郁夫・藤田和之	2011/8/1	電子情報通信学会技術研究報告	111 巻 190 号, 5-10.
学術論文	会話行動が関係開始スキル評価に与える影響 1)ー発話内容とハンド・ジェスチャーを用いたマルチ・チャンネル・アプローチによる検討ー	前田奈穂・横山ひとみ・藤原健・大坊郁夫	2011/9/1	社会言語科学	14 巻, 171-187
学術論文	明日に向かう積極的な意欲を探る上でポジティブ心理学の役割	大坊郁夫	2011/10/1	東京未来大学モチベーション研究所報告書	第 1 号, 17-24
学術論文	小集団の問題解決場面におけるコミュニケーション行動と対人認知との関係～社会的スキルと対人関係～	大坊郁夫・松山早希・藤原健	2012/1/1	電子情報通信学会技術研究報告	111 巻 393 号, 21-26.

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	欺瞞時に、生じる感情が非言語的行動の変化に及ぼす影響 ～ 顔面表情に着目して～	朴 喜静・大坊郁夫	2012/3/1	電子情報通信学会技術研究報告	111 巻 464 号, 35-40.
学術論文	ビデオ通信環境における対人印象の規定因に関する探索的実験研究 ～ 第三者に対する映像呈示と音声呈示の比較～	松田昌史・八重樫海人・大坊郁夫・三上弾・熊野史朗・大塚和弘・大和淳司	2012/3/1	電子情報通信学会技術研究報告	111 巻 464 号, 49-54.
学術論文	遠隔地コミュニケーションにおける非言語行動表出と他者から受ける印象の関連	八重樫海人・松田昌史・大坊郁夫	2012/3/1	電子情報通信学会技術研究報告	111 巻 464 号, 61-66.
学術論文	2 者間会話におけるパーソナリティ認知と自己の表出との関連	松山早希・大坊郁夫・谷口淳一	2012/3/1	電子情報通信学会技術研究報告	111 巻 464 号, 73-78.
学術論文	小集団の問題解決場面におけるコミュニケーション行動と対人認知との関係 (2) ～ コミュニケーション行動と対人関係～	藤原 健・大坊郁夫・松山早希	2012/3/1	電子情報通信学会技術研究報告	111 巻 464 号, 79-84.

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 2 件、副査 8 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 4 名、副指導教員：後期課程 5 名、前期課程 7 名）、卒業研究指導学生数 4 名、留学生 0 名、研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 件、学術論文 2 件、国際会議 4 件、会議報告 7 件、大学等の報告 件、解説・総説 2 件、書評 件、その他（月刊誌 Newton 記事 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	正当化装置としての「正義」:正義概念がもつ心理的機能	寺口 司・釘原直樹	2012/3/1	対人社会心理学研究	12
学術論文	内・外集団における異なる価値観の保持者に対する心理的距離と印象評価の連関	武藤麻美・釘原直樹	2012/3/1	対人社会心理学研究	12
会議報告/口頭発表	How social facilitation is influenced by changing co-actor's ability during co-action	Wu Yun & Naoki Kugihara	2011/7/1		
会議報告/口頭発表	高齢者と若年者の死因認識の違い	釘原直樹	2011/9/1	日本心理学会第 75 回大会発表論文集	
会議報告/口頭発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(19) 刺激の感情価が記憶バイアスに及ぼす影響	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・阿形亜子	2011/9/1	日本社会心理学会第 52 回大会発表論文集	
会議報告/口頭発表	Perception of cause of death from diseases, accidents and suicide in persons of young and seniors	Naoki Kugihara	2011/12/1		
会議報告/口頭発表	Evaluator admiring others' violent aggressions: Effects of evaluators' own group category and their emotion on their estimation of others' aggressions	Tsukasa Teraguchi & Naoki Kugihara	2012/1/1		
会議報告/口頭発表	The effects of group achievement feedback on individual member's performance	Agata, A. & Kugihara, N	2012/2/1		

分類(著書 ・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 ／掲載誌	巻号頁
解説・総説	危機事態からの集団脱出実験 装置の作成	釘原直樹	2011/8/1	書齋の窓	7-8月号
解説・総説	ソーシャルメディアと群集心理	釘原直樹	2012/2/1	月刊広報会議	

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 2 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査____件、副査____件）、修士（主査____件、副査____件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程____名、前期課程____名、副指導教員：後期課程____名、前期課程____名）、卒業研究指導学生数____名、留学生____名、研究生____名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 2 件、会議報告 6 件、大学等の報告____件、解説・総説____件、書評____件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書 (分担執筆)	第11章 文化における社会的スキルの役割	毛 新華	2012/2/1	幸福を目指す対人社会心理学-対人コミュニケーションと対人関係の科学-(大坊郁夫 編) ナカニシヤ出版	pp.246-270.
学術論文	中国文化の要素を考慮した社会的スキル・トレーニングのプログラムの開発および効果の検討	毛 新華・大坊郁夫	2012 年	パーソナリティ研究	印刷中
国際会議	Effects of Social Skills Training from a View-point of Nonverbal Channels.	Xinhua MAO & Ikuo DAIBO	2011/7/1	The 9th Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology, Kunming, China	
国際会議	How do Chinese people communicate with their friends?:An experimental study focused on dyadic interaction by female friends.	Masanori Kimura & Xinhua MAO	2011/7/1	The 9th Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology, Kunming, China	

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	社会的スキル・トレーニング(SST)プログラムの文化的効果性に関する検討—中国文化要素が配慮されたプログラムを日本人大学生に実施した結果から—	毛新華・木村昌紀	2011/8/1	日本グループ・ダイナミクス学会第58回大会発表論文集	pp.126-127
会議報告/口頭発表	対人コミュニケーションの日本・中国間比較研究—両国の円滑な異文化交流に向けて—	木村昌紀・毛新華	2011/8/1	日本グループ・ダイナミクス学会第58回大会発表論文集	pp.56-57
会議報告/口頭発表	在日中国人学生を対象とする異文化適応スキル訓練のプログラムおよびその効果	毛新華	2011/9/1	日本社会心理学会第52回大会発表論文集	pp.130
会議報告/口頭発表	在日中国人学生の日本文化適応に関する検討:異文化交流とアイデンティティ(3)—留学生研究の最前線—鈴木一代(企画)	毛新華	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	pp.WS12
会議報告/口頭発表	中国文化要素が配慮されたSSTプログラムの日本人大学生への効果—自己・他者評定による行動レベルの検討—	毛新華・木村昌紀	2011/9/1	日本感情心理学会第19回・日本パーソナリティ心理学会第20回合同大会発表論文集	pp.121
会議報告/口頭発表	友人関係の対人コミュニケーションに関する日本・中国間比較研究	木村昌紀・毛新華	2011/9/1	日本感情心理学会第19回・日本パーソナリティ心理学会第20回合同大会発表論文集	pp.37

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 13 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 2 件、副査 3 件）、修士（主査 2 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 10 名、前期課程 8 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 1 名）、卒業研究指導学生数 9 名、留学生 0 名、研究生 1 名、その他（科目等履修生 1 名）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 4 件、学術論文 5 件、国際会議 5 件、会議報告 15 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 15 件、書評 2 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	色彩福祉検定 1 級・2 級公式テキスト	佐藤眞一 (監修)	2011/4/1	一般社団法人 日本色彩環境 福祉協会/誠 文堂新光社	
著書	高齢者の心理	佐藤泰正・渡邊 映子・大川一郎 編著	2011/11/1	おうふう	
著書	ご老人は謎だらけ 老年行動学が解き明かす	佐藤眞一	2011/12/1	光文社新書	
学術論文	レビー小体型認知症高齢者の介護抵抗への対応に関する実証的研究	大川一郎・田中 真理・佃志津 子・大島由之・ Lin Shuzhen・成 本迅・本田憲 康・河田圭司・ 田邊真弓・新見 令子・鈴木信 恵・宮裕昭・山 本哲也・佐藤眞 一	2011/12/1	高齢者のケアと 行動科学	16 巻 61-81 頁
学術論文	金銭や家族に対する心配から、不穏不眠に陥ってしまう利用者へのアプローチ『パーソナルケア』に基づく事例の検討:ケアプランの策定, 実践, 評価—	佐藤眞一・小澤 直人・島内晶	2011/12/1	高齢者のケアと 行動科学	16 巻 82-94 頁
学術論文	行動科学と高齢者ケア—行動科学の意義と役割—	佐藤眞一	2011/12/1	高齢者のケアと 行動科学	16 巻 4-15 頁
国際会議 (proceedings あり)	Psychological experience related to memory of an elderly woman with mild cognitive impairment.	Nakano, M., Ota, S., Sato, S. and Shimanouchi, A.	2011/6/1		

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	The therapeutic nursing interview for the purpose of early diagnosis of Alzheimer's disease in outpatient department.	Nakano, M., Sato, S., Shiino, A., Watanabe, T., Shirakasi, Y. and Shimanouchi, A.	2011/7/1		
国際会議 (proceedings あり)	The Aging Paradox and Care for the Elderly.	Shinichi Sato	2011/8/1		
国際会議 (proceedings なし)	Subjective age and aging: An aspect of psychological gerontology.	Shinichi Sato	2011/9/1		
会議報告/口頭発表	The role of individualism/collectivism on implicit attitudes toward the elderly: A comparison of Japanese and American college students.	Moriwaki, M., Walker, S., Duggins, K.B., Nunez, N.L. and Sato, S.	2011/4/1	82nd Annual Conference of the Rocky Mountain Psychological Association	
会議報告/口頭発表	高齢者福祉施設における色彩介入の効果2: 心理学的観点からの検討	島内晶・佐藤眞一・網村眞弓・ヨシタミチコ	2011/5/1	日本色彩学会誌, Supplement	35 巻, 86-87 頁
会議報告/口頭発表	高齢者福祉施設における色彩介入の効果1: 色彩の観点からの検討	網村眞弓・ヨシタミチコ・島内晶・佐藤眞一	2011/5/1	日本色彩学会誌, Supplement	35 巻, 84-85 頁
会議報告/口頭発表	認知加齢研究の最前線—メタ記憶からのアプローチ—(ワークショップ)	佐藤眞一・増本康平・権藤恭之・金城 光・島内 晶・清水寛之	2011/9/1	日本心理学会第 75 回大会論文集	
会議報告/口頭発表	軽度認知症患者への回想音楽療法の試み(2)—音楽療法中の身体動作の大きさと気分の関係—	中原純・森本美奈子・安田晶子・三雲真理子・山本泰司・佐藤眞一	2011/9/1	日本心理学会第 75 回大会論文集	276 頁
会議報告/口頭発表	軽度認知症患者への回想音楽療法の試み(3)—認知症患者はリズム学習が可能か?—	安田晶子・森本美奈子・中原純・三雲真理子・山本泰司・佐藤眞一	2011/9/1	日本心理学会第 75 回大会論文集	277 頁
会議報告/口頭発表	遺族の「意味の再構成」と「心理的適応」との関連性について	中里和弘・川村諒・平井 啓・権藤恭之・佐藤眞一	2011/9/1	日本心理学会第 75 回大会論文集	449 頁
会議報告/口頭発表	高齢者ケアにおける心理学者の役割—コーディネータとしての役割を中心に—(ワークショップ)	大川一郎・佐藤眞一・宮 裕昭・日下菜穂子・成本 迅・本田憲康	2011/9/1	日本心理学会第 75 回大会論文集	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	超高齢社会への心理学の貢献—高齢者研究における縦断研究—(シンポジウム)	内藤佳津雄・佐藤眞一・小林江里香・権藤恭之・加藤伸司・長嶋紀一	2011/9/1	日本心理学会第75回大会論文集	
会議報告/口頭発表	メタ記憶における自信度と記憶成績との関連—高齢者と若年者を対象とした虚再認成績の比較—	島内 晶・佐藤眞一	2011/10/1		
会議報告/口頭発表	大学生における高齢者に対する規範意識の性差について—孝行行動尺度と主体の違いによる比較—	豊島 彩・佐藤眞一・安藤穂澄・田渕 恵・津島健一郎	2011/11/1		
会議報告/口頭発表	米国 The Well-Being Picture Scale の我が国における使用可能性の検討—日本人学生による信頼性・妥当性の検証—	中野雅子・江頭典江・中川威・石岡良子・権藤恭之・佐藤眞一	2011/11/1		
会議報告/口頭発表	高齢者虐待に対する認識の差の検討—福祉系学科の学生と他学科の学生における比較—	安藤穂澄・佐藤眞一・田渕恵・豊島 彩・津島健一郎	2011/11/1		
会議報告/口頭発表	寒冷地域在住高齢者における冬期間の外出頻度と健康関連指標との関連性	井平 光・古名丈人・佐藤眞一・村瀬裕志・大国美佳・安田圭佑・水本淳・石合純夫	2011/11/1		
会議報告/口頭発表	超高齢社会における新たなコミュニティモデルの構想	佐藤眞一	2011/12/1		71 頁
会議報告/口頭発表	若者の高齢者虐待への認識—高齢者への態度および社会規範との関連性—	安藤穂澄・佐藤眞一・田渕恵・Narina Nunez, 津島健一郎, 豊島 彩	2012/3/1	日本発達心理学会第23回大会発表論文集	210 頁
書評	【自著を語る】老いとこころのケア—老年行動科学入門—	佐藤眞一	2011/4/1	心理学ワールド	53 巻 45 頁
その他	認知症高齢者と介護する家族を支える—超高齢社会のいまこそ、求められることとは—	佐藤眞一	2011/5/1	いまここ Tokyo (社団法人日本産業カウンセラー協会東京支部機関誌)	26 巻 10-1 頁.
その他	組織に生きる	本多-ハワード素子・佐藤眞一	2011/5/1	月刊社会保険	第 62 巻 第 5 号 22-23 頁
その他	われわれというアイデンティティ	本多-ハワード素子・佐藤眞一	2011/6/1	月刊社会保険	第 62 巻 第 6 号 22-23 頁

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
その他	Aging Paradox と老年行動学	佐藤眞一	2011/7/1	Dia News	No.66, 2.
その他	組織の一員になっていく	本多-ハワード 素子・佐藤眞一	2011/7/1	月刊社会保険	第 62 卷 第 7 号 22-23 頁
その他	コミットメントの力	本多-ハワード 素子・佐藤眞一	2011/8/1	月刊社会保険	第 62 卷 第 8 号 22-23 頁
その他	組織の文化	本多-ハワード 素子・佐藤眞一	2011/9/1	月刊社会保険	第 62 卷 第 9 号 22-23 頁
その他	リーダーシップ	本多-ハワード 素子・佐藤眞一	2011/10/1	月刊社会保険	第 62 卷 第 10 号 22-23 頁
その他	これからのリーダーシップ	本多-ハワード 素子・佐藤眞一	2011/11/1	月刊社会保険	第 62 卷 第 11 号 22-23 頁
その他	組織的公正	本多-ハワード 素子・佐藤眞一	2011/12/1	月刊社会保険	第 62 卷 第 12 号 22-23 頁
その他	非日常の歓喜	佐藤眞一	2012/1/1	おはよう21	23 卷 2 号 40-41 頁
その他	集団の意志決定	本多-ハワード 素子・佐藤眞一	2012/1/1	月刊社会保険	第 63 卷 第 1 号 24-25 頁
その他	過組織症候群とは何か(1)	本多-ハワード 素子・佐藤眞一	2012/2/1	月刊社会保険	第 63 卷 第 2 号 26-27 頁
その他	過組織症候群とは何か(2)	本多-ハワード 素子・佐藤眞一	2012/3/1	月刊社会保険	第 63 卷 第 3 号 26-27 頁

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 20 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 0 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 10 名、前期課程 8 名）、卒業研究指導学生数 9 名、留学生 名、研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 4 件、国際会議 10 件、会議報告 20 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	高齢者の次世代に対する利他的行動意欲における世代性の影響	田渕 恵・権藤 恭之	2011/10/1	心理学研究	82(4) 392-398
学術論文	認知症スクリーニング・ツールにおける記憶課題の比較-Enhanced cued recall (ECR) の有効性に関する検討-	伊集院睦雄, 本間 昭, 川合 嘉子, 今井幸 充, 権藤恭之	2011/10/1	老年精神医学 雑誌	22(8): 1062-1070,
学術論文	Genetic variants at the 9p21 locus contribute to atherosclerosis through modulation of ANRIL and CDKN2A/B.	Congrains A, Kamide K, Oguro R, Yasuda O, Miyata K, Yamamoto E, Kawai T, Kusunoki H, Yamamoto H, Takeya Y, Yamamoto K, Onishi M, Sugimoto K, Katsuya T, Awata N, Ikebe K, Gondo Y, Oike Y, Ohishi M, Rakugi H.	2011/11/1	Atherosclerosis	220(2), 449-55
学術論文	高齢者における短縮版 Generativity 尺度の作成と信頼性・妥当性の検討	田渕恵、中川 威、権藤恭之、小森昌彦	2012/3/1	厚生 の 指標	59(3)1-7
会議報告/口頭 発表	米国 The Well-Being Picture Scale の我が国における使用可能性の検討—日本人学生による信頼性・妥当性の検証—	中野雅子・江 頭典江・中川 威・石岡良子・ 権藤恭之・佐 藤真一	2011/11/1		

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 1 名、副指導教員：
 後期課程 3 名、前期課程 4 名）、卒業研究指導学生数 6 名、留学生 0 名、
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 3 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	はじめての環境デザイン学	澤木昌典, 矢吹信喜, 福田知弘, 池道彦, 下田吉之, 惣田訓, 松村暢彦, 柴田祐, 青野正二, 上甫木昭春, 久隆浩, 吉村英祐, 宮崎ひろ志	2011/5/1	理工図書	
会議報告/口頭発表	自然環境の望ましさの評価構造について	記虎佳大, 青野正二	2011/12/1		
会議報告/口頭発表	コミュニケーションが生活騒音の評価に与える影響	河内なつみ, 青野正二	2011/12/1		
会議報告/口頭発表	アフォーダンス理論を用いた公共空間の環境評価	西田幸平, 青野正二	2011/12/1		

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 18 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 2 件、副査 0 件）、修士（主査 2 件、副査 4 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 3 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程 2 名、前期課程 5 名）、卒業研究指導学生数 5 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 8 件、国際会議 2 件、会議報告 18 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	産業安全におけるヒューマンエラーと違反,「現代の認知心理学4 注意と安全」	臼井伸之介	2011/10/1	北大路書房	209-225
学術論文	視覚課題に対する持続的報知音の影響	武市尚大・臼井伸之介	2011/4/1	人間工学	47(2), 65-68
学術論文	Changes in Labor Accident Risk with Aging	Nakamura T., Takagi M., Usui S.	2011/4/1	Journal of Disaster Research	6(2), 253-257
学術論文	交差点における高齢ドライバーの運転行動と自己評価の関係 非高齢ドライバーとの比較	蓮花のぞみ・多田昌裕・臼井伸之介・蓮花一己	2011/5/1	交通科学	41(2), 55-65
学術論文	交差点内の台形ランプが通過ドライバーに及ぼす影響—速度抑制効果の持続性とその波及性—	中井 宏・臼井伸之介	2011/10/1	人間工学	47(5), 222-228
学術論文	無線連絡受信後における鉄道運転士の注意特性	上田真由子・久保田敏裕・沖覚・臼井伸之介	2012/2/1	労働科学	87(.5), 173-185
学術論文	看護師の葛藤対処行動が日常の認知的失敗傾向に及ぼす間接的影響—媒介要因としてのストレスア及びバーンアウトの効果—	松本友一郎・臼井伸之介	2012/2/1	産業・組織心理学研究	Vol. 25, No. 2, 121-133
学術論文	職場の対人関係が新人看護師の精神的健康に影響を及ぼす過程に関する質的検討	松本友一郎・臼井伸之介	2012/2/1	産業・組織心理学研究	Vol. 25, No. 2, 135-146
学術論文	学生に対する避航判断教育プログラムの効果検証	澁 真輝・草加大司郎・藤本昌志・臼井伸之介	2012/3/1	日本航海学会論文集	Vol.126, 187-195

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	Relationship between the tendency of young commercial drivers to take risks in daily life and accident involvement	Shingo MORIIZUMI, Shinnosuke USUI, & Hiroshi NAKAI	2011/11/1	Proceedings of Fifth International Conference on Driver Behavior and Training	79
国際会議 (proceedings あり)	Influence of trust on young and elderly cyclists' gap acceptance	Yasunori KINOSADA & Shinnosuke USUI	2011/11/1	Proceedings of Fifth International Conference on Driver Behavior and Training	57
会議報告/口頭発表	高齢自転車利用者の道路横断時の判断に影響を及ぼす心理的要因	紀ノ定保礼・臼井伸之介	2011/5/1	日本認知心理学会第8回大会発表論文集	28
会議報告/口頭発表	看護・医療業務における違反への潜在的態度測定の試み	安達悠子・臼井伸之介・山口(中上)悦子・山田章子・朴勤植・仲谷達也	2011/5/1	日本認知心理学会第8回大会発表論文集	2
会議報告/口頭発表	駅環境が旅客の駆け込み乗車行動に与える影響	西岡春香・臼井伸之介	2011/6/1	日本人間工学会第51回大会講演集	280-281
会議報告/口頭発表	タッチパネルキーボードの配色が文字入力速度と魅力評価に及ぼす影響	羽田裕哉、臼井伸之介	2011/6/1	日本人間工学会第51回大会講演集	242-243
会議報告/口頭発表	期待や認知バイアスが若年自転車利用者の横断判断に及ぼす影響	紀ノ定保礼・臼井伸之介	2011/6/1	日本交通心理学会第75回大会発表論文集	103-106
会議報告/口頭発表	運転中のリスクテイキングの心的過程の分析ーリスク評価、主観的運転技能、リスクの効用の影響ー	中井宏・臼井伸之介	2011/6/1	日本交通心理学会第75回大会発表論文集	91-94
会議報告/口頭発表	リスク傾向が違反敢行に及ぼす影響	森泉慎吾・臼井伸之介	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1234
会議報告/口頭発表	安全研究における応用心理学の役割 日本心理学会シンポジウム	臼井伸之介	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	S(1)
会議報告/口頭発表	主観的運転技能の正確性に対する年齢の影響ー自己評価時の評価基準を考慮した検討ー	中井 宏・蓮花のぞみ・臼井伸之介	2011/9/1	日本応用心理学会第77回大会発表論文集	24
会議報告/口頭発表	外乱により誘発されるエラーの発生メカニズムに関する実験的研究(2)	太刀掛俊之・篠原一光・臼井伸之介	2011/9/1	日本応用心理学会第77回大会発表論文集	43

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	覚醒水準の高い条件下における行動特性 —高覚醒・タイムプレッシャー・統制条件間の比較—	上田真由子・和田一成・臼井伸之介	2011/9/1	日本応用心理学会第77回大会発表論文集	36
会議報告/口頭発表	病院看護師の看護業務における違反への潜在的態度測定の試み	安達悠子・臼井伸之介・青木喜子	2011/9/1	日本応用心理学会第77回大会発表論文集	71
会議報告/口頭発表	教習所卒業時の運転技能と免許取得後の運転の関連	中井宏・臼井伸之介	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1241
会議報告/口頭発表	リスクテイキング行動尺度の信頼性・妥当性の再検証	森泉慎吾・臼井伸之介	2011/9/1	日本応用心理学会第77回大会発表論文集	26
会議報告/口頭発表	バス運転者に対するエコドライブ講習と急発進の教育的効果	須和憲和・臼井伸之介	2011/11/1	日本交通心理学会第8回大会論文集	21-22
会議報告/口頭発表	当院で発生した異型輸血事故の要因分析と再発防止策	山口(中上)悦子・臼井伸之介、他8名	2011/11/1	医療の質・安全学会誌	Vol.6, 187
会議報告/口頭発表	パソコン課題とグループワークを組み合わせた不安全行動防止研修の試み	安達悠子・臼井伸之介	2011/11/1	医療の質・安全学会誌	Vol.6, 213
会議報告/口頭発表	海上交通における衝突回避判断教育プログラムの試行とその効果検証	淵 真輝・草加大司郎・藤本昌志・臼井伸之介・広野康平・持田高德	2011/12/1	日本人間工学会関西支部大会講演集	91-92
解説・総説	人はなぜ危ないことをするのか？	臼井伸之介	2011/6/1	人事院月報	No.742(6), 18-19

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
2011/6/1	中井宏・臼井伸之介	日本交通心理学会優秀発表賞	日本交通心理学会

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 2 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：
 後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 3 件、国際会議 1 件、会議報告 2 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	職場の対人関係が新人看護師の精神的健康に影響を及ぼす過程に関する質的検討	松本友一郎・臼井伸之介	2012/2/1	産業・組織心理学研究	Vol. 25, No. 2, 135-146
学術論文	看護師の葛藤対処行動が日常の認知的失敗傾向に及ぼす間接的影響—媒介要因としてのストレスア及びバーンアウトの効果—	松本友一郎・臼井伸之介	2012/2/1	産業・組織心理学研究	Vol. 25, No. 2, 121-133
学術論文	看護師の対人ストレスに関する質的研究	松本友一郎	2012/3/1	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	Vol. 38, 155-170
国際会議 (proceedings なし)	Influences of Stressors and Job Burnout on Tendency of Daily Failures among Nurses in Japan	Tomoichiro Matsumoto	2012/1/1	The 13th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology	
会議報告/口頭発表	看護師の職務葛藤場面における対処行動とストレスアとの関連	松本友一郎	2011/9/1	日本社会心理学会第 52 回大会発表論文集	195
会議報告/口頭発表	看護師のバーンアウトが失敗傾向に及ぼす影響 (2)	松本友一郎	2011/9/1	産業・組織心理学学会第 27 回大会発表論文集	159-162

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査2件）、修士（主査 件、副査2件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程1名、前期課程 名、副指導教員：
 後期課程2名、前期課程1名）、卒業研究指導学生数 名、留学生 名、
 研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 件、学術論文 件、国際会議1件、会議報告2件、
 大学等の報告 件、解説・総説1件、書評1件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	ストレス科学事典	日野林俊彦	2011/6/1	実務教育出版	
学術論文	2歳児による泣いている幼児への向社会的な反応:対人評価機能との関連性に注目して	加藤真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 日野林俊彦, 南徹弘	2012/3/1	発達心理学研究	23(1): 12-22.
国際会議 (proceedings なし)	Preschoolers' behavioral tendency of indirect reciprocity	KATO M., ONISHI K., KANAZAWA T., HINOYASHI T., & MINAMI T.	2011/8/1	Abstract book for 15th ECDP	III-62.
国際会議 (proceedings なし)	The change of interests of Japanese schoolgirls around puberty	Hinobayashi, T., Kato, M., Akai, S., Kanazawa, T.1, Minami, T. and Itoigawa, N.	2011/8/1		
会議報告/口頭発表	超低出生体重児における学齢期の発達障害を予測する周産期要因	金澤忠博, 安田純, 北村真知子, 鎌田次郎, 日野林俊彦, 南徹弘, 糸魚川直祐, 北島博之, 藤村正哲	2011/6/1	第27回ハイリスク児フォローアップ研究会抄録集	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	A twin study of school-age outcomes for a cohort of extremely low birthweight children in Japan.	Kanazawa, T., Yasuda, J., Kitamura, M., Kato, M., Kamada, J., Hinobayashi, T., Minami, T., Fujimura, M., Kitajima, H., and Itoigawa, N.	2011/8/1		
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その64. 認知発達と行動問題への出生月の影響	金澤忠博, 安田純, 北村真知子, 加藤真由子, 日野林俊彦, 南 徹弘, 北島博之, 藤村正哲	2011/8/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1020
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その65. 児童の自尊心と家庭環境	鎌田次郎, 金澤忠博, 安田 純, 日野林俊彦, 南 徹弘, 北島博之, 藤村正哲	2011/8/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1051
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その66. 気質の変化と安定	安田 純, 金澤忠博, 北村真知子, 加藤真由子, 日野林俊彦, 南 徹弘, 北島博之, 藤村正哲	2011/8/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1052
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その67. 動的家族画に見られる超低出生体重児の特徴	北村真知子, 金澤忠博, 安田純, 加藤真由子, 日野林俊彦, 南 徹弘, 北島博之, 藤村正哲	2011/8/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1053
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その68. 自閉症スペクトラム児のプロソディ	井崎基博, 金澤忠博, 安田 純, 北村真知子, 加藤真由子, 日野林俊彦, 南 徹弘, 北島博之, 藤村正哲	2011/8/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1054
会議報告/口頭発表	広汎性発達障害児の心の理論と社会的相互交渉	岡本駿一, 金澤忠博, 井崎基博, 大西賢治, 日野林俊彦	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1068

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	発達加速の研究・その25ー誕生の月に初潮の生起率は高まるのかー	日野林俊彦・加藤真由子・山田一憲・金澤忠博・赤井誠生・南徹弘	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	987
会議報告/口頭発表	自閉症スペクトラム障害児のプロソディと意図理解	井崎基博,金澤忠博,鎌田次郎,安田 純,加藤真由子,岡本駿一,日野林俊彦,南 徹弘,北島博之,藤村正哲,糸魚川直祐	2012/2/1	日本発達心理学会第23回大会論文集	441
会議報告/口頭発表	超低出生体重児における発達障害と周産期合併症との関係	金澤忠博,安田純,加藤真由子,井崎基博,鎌田次郎,日野林俊彦,南 徹弘,北島博之,藤村正哲,糸魚川直祐	2012/2/1	日本発達心理学会第23回大会論文集	513
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の共感性	加藤真由子,金澤忠博,安田純,井崎基博,日野林俊彦,南徹弘,糸魚川直祐	2012/2/1	日本発達心理学会第23回大会論文集	516
会議報告/口頭発表	学齢期における発達障害と母親の養育態度ー低出生体重児の調査からー	鎌田次郎,金澤忠博,安田 純,日野林俊彦,南徹弘,糸魚川直祐	2012/2/1	日本発達心理学会第23回大会論文集	515
会議報告/口頭発表	広汎性発達障害児の心の理論と社会的相互交渉	岡本駿一, 金澤忠博, 井崎基博, 大西賢治, 日野林俊彦	2012/3/1	日本発達心理学会第23回大会論文集	683
会議報告/口頭発表	初潮年齢に及ぼす同胞効果	日野林俊彦・加藤真由子・金澤忠博・南徹弘・糸魚川直祐	2012/3/1	日本発達心理学会第23回大会発表論文集	
書評	平石賢二編著『思春期・青年期のこころ 改訂版』	日野林俊彦	2012/1/1	日本青年心理学会ニューズレター	57号6-7

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 17 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 3 名、副指導教員：
 後期課程 1 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 4 名、留学生 0 名、
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 20 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	2歳児による泣いている幼児への向社会的な反応:対人評価機能との関連性に注目して	加藤真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 日野林俊彦, 南徹弘	2012/3/1	発達心理学研究	23(1): 12-22.
国際会議 (proceedings なし)	The change of interests of Japanese schoolgirls around puberty	Hinobayashi, T., Kato, M., Akai, S., Kanazawa, T.1, Minami, T. and Itoigawa, N.	2011/8/1		
国際会議 (proceedings なし)	Preschoolers' behavioral tendency of indirect reciprocity	KATO M., ONISHI K., KANAZAWA T., HINOYASHI T., & MINAMI T.	2011/8/1	Abstract book for 15th ECDP	III-62.
会議報告/口頭発表	超低出生体重児における学齢期の発達障害を予測する周産期要因	金澤忠博, 安田純, 北村真知子, 鎌田次郎, 日野林俊彦, 南徹弘, 糸魚川直祐, 北島博之, 藤村正哲	2011/6/1	第27回ハイリスク児フォローアップ研究会抄録集	
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その64. 認知発達と行動問題への出生月の影響	金澤忠博, 安田純, 北村真知子, 加藤真由子, 日野林俊彦, 南徹弘, 北島博之, 藤村正哲	2011/8/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1020

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その65. 児童の自尊心と家庭環境	鎌田次郎, 金澤忠博, 安田 純, 日野林俊彦, 南徹弘, 北島博之, 藤村正哲	2011/8/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1051
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その66. 気質の変化と安定	安田 純, 金澤忠博, 北村真知子, 加藤真由子, 日野林俊彦, 南 徹弘, 北島博之, 藤村正哲	2011/8/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1052
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その67. 動的家族画に見られる超低出生体重児の特徴	北村真知子, 金澤忠博, 安田純, 加藤真由子, 日野林俊彦, 南 徹弘, 北島博之, 藤村正哲	2011/8/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1053
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その68. 自閉症スペクトラム児のプロソディ	井崎基博, 金澤忠博, 安田 純, 北村真知子, 加藤真由子, 日野林俊彦, 南 徹弘, 北島博之, 藤村正哲	2011/8/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1054
会議報告/口頭発表	A twin study of school-age outcomes for a cohort of extremely low birthweight children in Japan.	Kanazawa, T., Yasuda, J., Kitamura, M., Kato, M., Kamada, J., Hinobayashi, T., Minami, T., Fujimura, M., Kitajima, H., and Itoigawa, N.	2011/8/1		
会議報告/口頭発表	発達加速の研究・その25—誕生の月に初潮の生起率は高まるのか—	日野林俊彦・加藤真由子・山田一憲・金澤忠博・赤井誠生・南徹弘	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	987
会議報告/口頭発表	広汎性発達障害児の心の理論と社会的相互交渉	岡本駿一, 金澤忠博, 井崎基博, 大西賢治, 日野林俊彦	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1068
会議報告/口頭発表	超低出生体重児の精神発達の長期予後 —幼児期から学齢期にかけての縦断的調査—	北村真知子, 山本悦代, 金澤忠博, 平野慎也, 北島博之, 藤村正哲	2011/10/1	日本未熟児新生児学会雑誌	23(3): 273

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	学童期における問題への対処: 自閉症の療育とフォローアップ (ワークショップ「NICUから学童期まで支援につながる発達フォローアップ —発達段階における課題と心理職の役割—」の話題提供)	金澤忠博	2011/10/1	日本未熟児新生児学会雑誌	23(3): 148
会議報告/口頭発表	フォローアップ研究から見えてきたこと(シンポジウム「小児医療から見た子どもの育ち」)	金澤 忠博	2011/10/1	第8回子ども学会抄録集	
会議報告/口頭発表	自閉症スペクトラム障害児のプロソディと意図理解	井崎基博, 金澤忠博, 鎌田次郎, 安田 純, 加藤真由子, 岡本駿一, 日野林俊彦, 南 徹弘, 北島博之, 藤村正哲, 糸魚川直祐	2012/2/1	日本発達心理学会第23回大会論文集	441
会議報告/口頭発表	学齢期における発達障害と母親の養育態度 —低出生体重児の調査から—	鎌田次郎, 金澤忠博, 安田 純, 日野林俊彦, 南徹弘, 糸魚川直祐	2012/2/1	日本発達心理学会第23回大会論文集	515
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の共感性	加藤真由子, 金澤忠博, 安田 純, 井崎基博, 日野林俊彦, 南徹弘, 糸魚川直祐	2012/2/1	日本発達心理学会第23回大会論文集	516
会議報告/口頭発表	超低出生体重児における発達障害と周産期合併症との関係	金澤忠博, 安田 純, 加藤真由子, 井崎基博, 鎌田次郎, 日野林俊彦, 南 徹弘, 北島博之, 藤村正哲, 糸魚川直祐	2012/2/1	日本発達心理学会第23回大会論文集	513
会議報告/口頭発表	初潮年齢に及ぼす同胞効果	日野林俊彦・加藤真由子・金澤忠博・南徹弘・糸魚川直祐	2012/3/1	日本発達心理学会第23回大会発表論文集	

分類(著書 ・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 ／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭 発表	広汎性発達障害児の心の理論 と社会的相互交渉	岡本駿一, 金 澤忠博, 井崎 基博, 大西賢 治, 日野林俊 彦	2012/3/1	日本発達心理 学会第23回大 会論文集	683

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 3 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 2 件、国際会議 1 件、会議報告 4 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	ニホンザルの 1 歳齢の社会的な関わりに母ザルの子育てスタイルが及ぼす影響	鋤納有実子, 大西賢治, 中道正之	2011/7/1	霊長類研究	27: 11-19.
学術論文	2 歳児による泣いている幼児への向社会的な反応: 対人評価機能との関連性に注目して	加藤真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 日野林俊彦, 南徹弘	2012/3/1	発達心理学研究	23(1): 12-22.
国際会議 (proceedings なし)	Preschoolers' behavioral tendency of indirect reciprocity	KATO M., ONISHI K., KANAZAWA T., HINOYASHI T., & MINAMI T.	2011/8/1	Abstract book for 15th ECDP	III-62.
会議報告/口頭発表	子ザルへの他個体の接近が母ザルの子ザルへのモニタリングに及ぼす影響 — 野外ニホンザル集団における分析 —	大西賢治	2011/7/1	霊長類研究	27:44:00
会議報告/口頭発表	毛づくろいに伴う採食が毛づくろいの互惠性や継続時間に与える影響 — 野外ニホンザル集団での予備調査報告 —	大西賢治・山田一憲・中道正之	2011/9/1	動物心理学研究	61:237
会議報告/口頭発表	広汎性発達障害児の心の理論と社会的相互交渉	岡本駿一, 金澤忠博, 井崎基博, 大西賢治, 日野林俊彦	2012/3/1	日本心理学会第 23 回大会発表論文集	683

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 21 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 4 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 4 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 3 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 5 件、国際会議 3 件、会議報告 6 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	ストレス科学事典	志村 剛	2011/6/1	実務教育出版	283,378,417, 592,659,840, 942-943, 972-973
学術論文	条件性嫌悪刺激による扁桃体基底外側核出力ニューロンの活性化:マンガン造影 MRI 法による解析	乾 賢, 乾 千珠子, 大澤五住, 吉岡芳親, 志村 剛	2011/12/1	日本味と匂学会誌	18.3, 259-262
学術論文	高嗜好性食物への給餌タイミングへの時間的同調のマウスモデル	八十島安伸, 谷 渕めぐみ, 志村 剛	2011/12/1	日本味と匂学会誌	18 (3) 309-310
学術論文	甘味溶液の過剰摂取に関わる脳内報酬系の活動	谷 渕めぐみ, 八十島安伸, 志村 剛	2011/12/1	日本味と匂学会誌	18 (3) 253-254
解説・総説	味覚の嗜好と嫌悪に基づいて脳が行う食行動の制御	八十島安伸, 乾 賢, 志村 剛	2011/4/1	食品・食品添加物研究誌 FFI ジャーナル	216

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 8 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 5 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 5 名）、卒業研究指導学生数 3 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 2 件、国際会議 1 件、会議報告 5 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（研究報告書 1 件）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	高嗜好性食物への給餌タイミングへの時間的同調のマウスモデル	八十島安伸, 谷渕めぐみ, 志村 剛	2011/12/1	日本味と匂学会誌	18 (3) 309-310
学術論文	甘味溶液の過剰摂取に関わる脳内報酬系の活動	谷渕めぐみ, 八十島安伸, 志村 剛	2011/12/1	日本味と匂学会誌	18 (3) 253-254
国際会議 (proceedings なし)	Hedonically motivated binge-type excessive sugar-taking behavior through ghrelin signaling in the ventral midbrain	Yasunobu Yasoshima, Megumi Tanibuchi, Tsuyoshi Shimura	2011/11/1		113-114
会議報告/口頭発表	Peripheral and central ghrelin signalings mediate the expression of binge-type overconsumption of a palatable sugar solution	Megumi Tanibuchi, Yasunobu Yasoshima, Tsuyoshi Shimura	2011/9/1		
会議報告/口頭発表	Insular-amygdalar disconnection facilitates development of binge-type excessive sugar-taking behavior in mice	Yasunobu Yasoshima, Megumi Tanibuchi, Tsuyoshi Shimura	2011/9/1		
会議報告/口頭発表	Integrative control of sugar preference through neural crosstalk among body weight, nutritional needs and taste-related memory	Takenori Miyamoto, Lisa Ohkubo, Miho Kitazawa, Toshiyoshi Matsukawa, Yohko Yamada, Hiroko Eda-Fujiwara, Ryohei Satoh, Yasunobu Yasoshima	2011/9/1		

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
解説・総説	味覚の嗜好と嫌悪に基づいて脳が行う食行動の制御	八十島安伸、乾賢、志村 剛	2011/4/1	食品・食品添加物研究誌 FFI ジャーナル	216

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 0 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 名、前期課程 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	条件性嫌悪味刺激による扁桃体基底外側核出力ニューロンの活性化:マンガン造影MRI法による解析	乾賢・乾千珠子・大澤五住・吉岡芳親・志村剛	2011/12/1	日本味と匂学会誌	18 巻 3 号
学術論文	条件性嫌悪刺激による扁桃体基底外側核出力ニューロンの活性化:マンガン造影MRI法による解析	乾 賢, 乾 千珠子, 大澤五住, 吉岡芳親, 志村 剛	2011/12/1	日本味と匂学会誌	18.3, 259-262
解説・総説	味覚の嗜好と嫌悪に基づいて脳が行う食行動の制御	八十島安伸、乾 賢、志村剛	2011/4/1	食品・食品添加物研究誌 FFI ジャーナル	216

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 3 名、副指導教員：
 後期課程 1 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、
 研究生 0 名、その他（ なし ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 1 件、国際会議 7 件、会議報告 2 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ なし ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	非計量多変量解析法—主成分分析から多重対応分析へ—	足立浩平・村上隆	2011/8/1	朝倉書店	
著書	統計応用の百科事典(松原望・美添泰人・岩崎学・金明哲・竹村和久・林文・山岡和枝(編))	足立浩平	2011/10/1	丸善出版	pp.386-387 (非計量多次元尺度法), pp.450-451 (計量多次元尺度法)
学術論文	Three-Way Tucker2 Component Analysis Solutions of Stimuli x Responses x Individuals Data with Simple Structure and the Fewest Core Differences	Kohei Adachi	2011/4/1	Psychometrika	Vol. 76, No. 2, Pp. 285-305
学術論文	最小二乗置換によるサイズ固定クラスターリング	足立浩平	2011/9/1	データ分析の理論と応用	第1巻 第1号, Pp. 11-22
国際会議 (proceedingsあり)	A Fixed Factor Analysis Procedure as an Extension of Principal Component Analysis	Kohei Adachi	2011/8/1	Proceedings of ISI (International Statistical Institute) 2011 (電子媒体)	
国際会議 (proceedingsあり)	Sparse Component and Factor Analysis Procedures via Directly Constraining the Sparseness of Loadings	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	2011/11/1	Proceedings of the Symposium on Life Sciences and Statistics	pp. 5-12

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	No Improper Solution Occurs in EM Factor Analysis	Kohei Adachi	2011/11/1	Proceedings of Joint Meeting of the Korea-Japan Conference of Computational Statistics and the 25th Symposium of Japanese Society of Computational Statistics	pp. 147-148
国際会議 (proceedings なし)	Nonsingular Transformation of Tucker2 Solutions for Representing Stimulus-Response Relationships by Sparse Networks	Kohei Adachi	2011/7/1	International Meeting of Psychometric Society, 2011	
国際会議 (proceedings なし)	Three Kinds of Hierarchical Relations among PCA, Nonmetric PCA, and Multiple Correspondence Analysis	Kohei Adachi & Takashi Murakami	2011/7/1	International Meeting of Psychometric Society, 2011	
国際会議 (proceedings なし)	SPARSIMAX: Principal Component Analysis with Direct Sparsity Constraint on Loadings	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	2011/12/1	Joint Meeting of the 2011 Taipei International Statistical Symposium and 7th Conference of the Asian Regional Section of the IASC	142-143
国際会議 (proceedings なし)	Least Squares Permutation and Its Applications to Factor Rotation and Fixed Size Clustering	Kohei Adachi	2012/3/1	4th Japanese-German Symposium on Classification, Abstract Book	8
会議報告/口頭発表	A New Algorithm for Weighted Least Squares Factor Analysis with a Majorization Technique	足立浩平	2011/5/1		
会議報告/口頭発表	Sparsimax: A Sparse Component Analysis Procedure	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	2011/9/1	日本行動計量学会第39会大会発表抄録集	213-216 頁

所属： 行動学系 氏名： 宮本 友介

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 6 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査 件）、修士（主査 件、副査 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 名、前期課程 名、副指導教員：
後期課程 名、前期課程 名）、卒業研究指導学生数 名、留学生 名、
研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 件、学術論文 件、国際会議 件、会議報告 1 件、
大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数 1 名、留学生 0 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 8 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	類人猿のゴリラ、チンパンジー、シロテテナガザルと広鼻猿リスザルの脾臓の脾管分布	宮木孝昌, Alimujiang Shawuti, 斎藤敏之, 熊倉博雄, 伊藤正裕	2012/2/1	形態科学	15(1): 25-29
会議報告/口頭発表	霊長類の下腿筋モーメントアーム長の推定	後藤遼祐, 熊倉博雄	2011/11/1		
会議報告/口頭発表	シロテテナガザルのブラキエーション時における体肢関節運動の解析	岡健司, 廣川容子, 熊倉博雄	2011/11/1		
会議報告/口頭発表	腹横筋は何をしているのか — 超音波診断器を用いた非侵襲的測定—	犬飼康人, 熊倉博雄	2011/12/1		

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 3 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：
 後期課程 1 名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数 1 名、留学生 0 名、
 研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 3 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	四肢の運び順から見たチンパンジー幼齢時の垂直木登り運動	中野良彦	2011/7/1	霊長類研究	27 Suppl. :37
会議報告/口頭発表	アフリカ中期中新世の化石類人猿 Nacholapithecus における弓下窩の消失	国松豊、中務真人、清水大輔、辻川寛、中野良彦、荻原直道、菊池泰弘、石田英実	2011/7/1	霊長類研究	27 Suppl. :30
会議報告/口頭発表	Features of vertical climbing in the infant chimpanzee.	NAKANO, Y.	2011/12/1	Anthropological Science	119(3):303.

所属： 行動学系 氏名： 日暮 泰男

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 0 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 3 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 2 件、副査 3 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程 3 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 4 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 3 件、国際会議 0 件、会議報告 11 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	ニホンザルの 1 歳齢の社会的な関わりに母ザルの子育てスタイルが及ぼす影響	鋤納有実子, 大西賢治, 中道正之	2011/7/1	霊長類研究	27: 11-19.
学術論文	ニホンザルにおける稀にしか見られない行動に関するアンケート調査結果報告	中川尚史・中道正之・山田一憲	2011/12/1	霊長類研究	27:111-125
学術論文	ニホンザルにおける稀にしか見られない行動に関するアンケート調査結果報告	中川尚文・中道正之・山田一憲	2011/12/1	霊長類研究	27
会議報告/口頭発表	ワカモノ期におけるニホンザルの母娘関係と成体との毛づくろい関係の形成	勝野 野史子・山田一憲・中道正之	2011/6/1	第 12 回ニホンザル研究セミナー	発表予稿 No.7
会議報告/口頭発表	ニホンザルのワカモノ期における母娘関係が成体との毛づくろい関係に及ぼす影響	勝野 野史子・山田一憲・中道正之	2011/7/1	第 27 回日本霊長類学会大会	霊長類研究, 27 (Supplement): P24
会議報告/口頭発表	勝山ニホンザル集団における毛づくろいの互惠性と催促行動の効果	上野将敬・山田一憲・中道正之	2011/7/1	第 27 回日本霊長類学会大会	
会議報告/口頭発表	母との密接さはワカモノ期ニホンザルメスの社会関係に影響するか？	勝野 野史子・山田一憲・中道正之	2011/9/1	日本心理学会 第 75 回大会発表論文集	1019
会議報告/口頭発表	毛づくろいに伴う採食が毛づくろいの互惠性や継続時間に与える影響 —野外ニホンザル集団での予備調査報告—	大西賢治・山田一憲・中道正之	2011/9/1	動物心理学研究	61:237
会議報告/口頭発表	ニホンザルメスの毛づくろいにおける互惠性と催促行動	上野将敬・山田一憲・中道正之	2011/9/1	日本心理学会 第 75 回大会発表論文集	

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	野生ニホンザル集団の毛づくろい交換における催促行動の働き	上野将敬・山田一憲・中道正之	2011/9/1	動物心理学研究	61:237
会議報告/口頭発表	ニホンザルメス間での毛づくろいの互惠性における催促行動の働き	上野将敬・山田一憲・中道正之	2011/11/1	第4回日本人間行動進化学会大会	
会議報告/口頭発表	嵐山ニホンザル集団における0歳齢みなしごの社会関係の縦断的变化	鋤納 有実子・山田 一憲・中道 正之	2011/11/1	SAGA14	要旨集:P6
会議報告/口頭発表	霊長類の学習実験が動物園来園者の行動に与える影響	阪口耕平・山本裕己・松永雅之・伊藤二三夫・田中正之・山田一憲・中道正之	2012/3/1	ず〜だがや。動物園大学 2 in 名古屋	要旨集:P17
会議報告/口頭発表	京都市動物園におけるマンドリルの生後16ヵ月間の行動発達	三谷彩夏・山本裕己・伊藤英之・高井進・山下直樹・山田一憲・中道正之	2012/3/1	ず〜だがや。動物園大学 2 in 名古屋	要旨集:P17
会議報告/口頭発表	京都市動物園におけるグレイシマウマの生後16ヵ月間の母子関係	山元由実・伊藤英之・柳本博・松岡賢司・山田一憲・中道正之	2012/3/1	ず〜だがや。動物園大学 2 in 名古屋	要旨集:P17

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 4 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査 件）、修士（主査 件、副査 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 名、前期課程 名、副指導教員：後期課程 名、前期課程 名）、卒業研究指導学生数 名、留学生 名、研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 3 件、会議報告 6 件、大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	パネルデータでみる中高年の意識変容	吉川徹・阪口祐介・中原純, 他	2012/1/1	ミネルヴァ書房	
学術論文	前期高齢者の祖父母役割と主観的 well-being の関係	中原純	2011/6/1	心理学研究	
国際会議 (proceedings あり)	Relationships between moral distress and moral sensitivity experienced by Japanese psychiatric nurses.	Ohnisi, K., Kitaoka, K., Nakahara, J., & Nagai, M.	2011/10/1		
国際会議 (proceedings あり)	The influences of parent and intergenerational family identity on subjective well-being in Japanese young-olds.	Nakahara, J.	2011/10/1		
国際会議 (proceedings あり)	The effect of music therapy on spouse caregivers of elderly patients with dementia: A focus on the evaluation of mood.	Yasuda, Y., Nakahara, J., Mikumo, M., & Morimoto, M.	2011/10/1		

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 6 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 4 名、副指導教員：
 後期課程 2 名、前期課程 6 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 1 名、
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 4 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 2 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	利他主義と宗教	稲場圭信	2011/11/1	弘文堂	
著書	「阪神淡路大震災から東日本大震災へー共感にもとづいた生き方の変化」『宗教と現代がわかる本 2012』	渡邊直樹編	2012/2/1	平凡社	
学術論文	無自覚の宗教性とソーシャル・キャピタル	稲場圭信	2011/4/1	宗教と社会貢献	1(1), pp.3-26
学術論文	大震災に宗教の社会貢献を考える(1)宗教者だからできる心だけでない丸ごとのケアを	稲場圭信	2011/6/1	寺門興隆	6月号 2011年 6月, 80-87頁
学術論文	大震災に宗教の社会貢献を考える(2)危機を乗り越えるには何が必要かが浮き彫りにされた	稲場圭信	2011/7/1	寺門興隆	7月号 2011年 7月, 74-81頁
学術論文	大震災に宗教の社会貢献を考える(3)宗教軽視の社会制度のなかで宗教者の社会参加とは何か	稲場圭信	2011/8/1	寺門興隆	8月号 2011年 8月, 112-119頁
学術論文	Religion's Response to the Earthquake and Tsunami in Northeastern Japan	Keishin INABA	2011/10/1	Dharma World	Oct.-Dec. 2011 Vol.38, pp.41-43
会議報告/口頭発表	こころのケア・まるごとのケア：宗教者のネットワーク	稲場圭信	2011/4/1		

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	宗教者災害救援ネットワーク	稲場圭信	2011/7/1	京都大学こころの未来研究センターシンポジウム「災害と宗教と『心のケア』」	
会議報告/口頭発表	宗教の救援活動・応答—宗教者災害救援ネットワークから—	稲場圭信	2011/9/1		
会議報告/口頭発表	FBOs and Unconscious Religiosity in Japan	Keishin INABA	2011/10/1		

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 9 名、前期課程 4 名、副指導教員：
 後期課程 3 名、前期課程 8 名）、卒業研究指導学生数 11 名、留学生 2 名、
 研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 3 件、学術論文 2 件、国際会議 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 件、解説・総説 1 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	ケアの倫理から始める正義論 ---支え合う平等	エヴァ・キテイ、 岡野八代、牟 田和恵	2011/8/1	白澤社	全体の共編 および、 155-172 ペ ージ 単独執筆
著書	Gender Politics of War Memory: The Asia-Pacific and Beyond	Muta Kazue, Beverley Ann Yamamoto eds, Kimura Ryoko, Fujime Yuki, et al.	2012/3/1	大阪大学出版 会	
著書	競合するジャスティス---ローカリテ ィ・伝統・ジェンダー	牟田和恵, 平沢 安政, 石田慎一 郎, 友枝敏雄, 山本ベバリーア ン, 木村涼子, 玉 城福子他	2012/3/1	大阪大学出版 会	
学術論文	Gender and the De-Politicization of War Memorialization in Japan	Muta Kazue	2012/3/1	Gender Politics of War Memory: The Asia-Pacific and Beyond	
学術論文	脱政治化される戦争---戦争の 記憶をめぐるジェンダーの政治	牟田和恵	2012/3/1	『競合するジャス ティス---ローカリ ティ・伝統・ジェ ンダー』	
解説・総説	キテイ哲学がわたしたちに伝えてく れるもの	牟田和恵	2011/8/1	『ケアの倫理から はじめる正義論 ---支えあう平 等』	

所属： 社会学系 氏名： 辻 大介

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 13 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 2 件）、修士（主査 0 件、副査 6 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 7 名、副指導教員：後期課程 12 名、前期課程 10 名）、卒業研究指導学生数 15 名、留学生 5 名、研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 3 件、学術論文 0 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	若者の現在——政治	小谷敏、草柳千早、土井隆義、辻大介、藤田智博、高原基彰、萱野稔人、栗原彬、渡辺潤、今野春貴、中西新太郎	2011/5/1	日本図書センター	
著書	日本人の情報行動 2010	橋元良明、北村智、辻大介、金相美、森康俊、久保隅綾、是永論、小笠原盛浩、長尾嘉英、庄野徹	2011/9/1	東京大学出版会	
著書	Pop Culture and the Everyday in Japan	Katsuya Minamida, Izumi Tsuji, Daisuke Tsuji, kensuke Suzuki, Keiichi Nabe, Soichiro Matsutani, Yoshimasa Kijima, Junichi Nagai, Yasuko Nakanishi, Masahiro Abe, Shunsuke Tanabe	2012/3/1	Trans Pacific Press	pp.61-80
会議報告/口頭発表	大学生の生活と意識(3)——メディア利用とコミュニケーション	辻大介	2011/9/1		

所属： 社会学系 氏名： 山中 浩司

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 17 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 3 件、副査 5 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 4 名、前期課程 5 名、副指導教員：後期課程 5 名、前期課程 12 名）、卒業研究指導学生数 4 名、留学生 1 名、研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 1 件、会議報告 2 件、大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings なし)	Between determinism and weak predictivity: predictive genetic testing for common diseases and primary preventive medicine	H.Yamanaka	2011/11/1		

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 6 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 5 名、前期課程 9 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 0 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 2 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 15 件、書評 1 件、その他（ 雑誌対談 1 件 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	介護保険制度創設 10 年を振り返りながら(『社会保障—21 世紀の課題』第7章)	五島正規 VS 堤修三	2011/10/1	年友企画	
会議報告/口頭発表	“公衆衛生”の意義とその変容	堤 修三	2011/11/1		
会議報告/口頭発表	社会保障における医療保険の意義～日本の皆保険体制に焦点を当てて～	堤 修三	2012/1/1		
解説・総説	介護保険は持続可能か	堤 修三	2011/4/1	社会保険旬報	No.2457
解説・総説	熟議の前に必要なこと	堤 修三	2011/4/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	事業者公募制の意味するもの	堤 修三	2011/5/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	介護保険は皆保険の一角を担い得るか	堤 修三	2011/6/1	文化連情報	
解説・総説	社会保険の6原則	堤 修三	2011/6/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	ふるさとに住み続ける権理	堤 修三	2011/7/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	日本に一つだけのHMO	堤 修三	2011/8/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	介護保険と市町村	堤 修三	2011/8/1	月刊『地方自治職員研修』2011年8月号	
解説・総説	人と市民の介護保険	堤 修三	2011/9/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	高齢者医療費を公平に支えるという(理念)	堤 修三	2011/10/1	月刊介護保険情報 10月号	
解説・総説	ナショナルミニマム以下のシブイルミニマム	堤 修三	2011/11/1	月刊介護保険情報 11月号	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
解説・総説	〈社会連帯〉の消失	堤 修三	2011/12/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	介護保険の辞典	堤 修三	2012/1/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	社会福祉法人は今日の福祉課題に応えることができるか	堤 修三	2012/1/1	月刊福祉	
解説・総説	方法の問題－個人単位は原理か－	堤 修三	2012/2/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	介護保険－終わりの始まり？	堤 修三	2012/3/1	月刊介護保険情報	
書評	書評・島崎謙治『日本の医療－制度と政策』東京大学出版会	堤 修三	2011/6/1	社会保険旬報 2011年6月11日号	
その他	生きること、住まうこと	堤 修三・市川 禮子・間宮陽介	2011/9/1	人環フォーラム No.29	

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 20 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 6 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 2 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 6 名）、卒業研究指導学生数 1 名、留学生 1 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 2 件、国際会議 3 件、会議報告 1 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	「形而上学から科学技術論へ」 戸田山和久・出口康夫(編) (2011)『応用哲学を学ぶ人のために』	中山 康雄	2011/5/1	世界思想社	
著書	規範とゲーム - 社会の哲学入門	中山 康雄	2011/9/1	勁草書房	総ページ数 276 ページ
学術論文	ロボット工学研究に現れる哲学の問題 - 相互認知環境としての文脈と自己の位置付け	中山康雄	2011/12/1	科学哲学	44 巻 2 号, pp. 1-16
国際会議 (proceedings あり)	Scientific Progress and Creation of Languages	Yasuo NAKAYAMA	2011/7/1	East Asian Philosophy of Science Workshop	pp. 331 - 347
国際会議 (proceedings あり)	Scientific Progress as Increase of Expressibility, Accuracy and Coherence	Yasuo NAKAYAMA	2011/7/1	14th Congress of Logic Methodology and Philosophy of Science: Extended Abstracts, Nancy 2011, CD-ROM	3 pages (CD-ROM)
国際会議 (proceedings なし)	Philosophical Problems in Robotics and Engineering: Contexts as Mutual Cognitive Environments and Questions about the Self	Yasuo NAKAYAMA	2011/12/1		
会議報告/口頭発表	アフォーダンス系と高次の情報処理	中山 康雄	2011/9/1	日本認知科学会第 28 回大会発表論文集 (CD-ROM 版)	pp. 494-499

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 21 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 9 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 4 名、前期課程 4 名）、卒業研究指導学生数 1 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 単 2 共 2 件、学術論文 2 件、国際会議 5 件、会議報告 3 件、大学等の報告 海外 1 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（対談 1、翻訳 1（共役））

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	治癒の現象学	村上靖彦	2011/5/1	講談社	
著書	応用哲学を学ぶ人のために	戸田山 和久、 出口 康夫他 (村上靖彦)	2011/5/1	世界思想社	
著書	傷と再生の現象学	村上靖彦	2011/9/1	青土社	
著書	Levinas autrement	yasuhiko murakami, etc. Burggraeve R., Hansel J., Lescourret M.-A., Rey J.-F., Salanskis J.-M.	2012/3/1	Peeters	307-322
学術論文	リズムの破れ・メトニーとメタファー 心的外傷と主体形成	村上靖彦	2011/7/1	現代思想	39-11(2011.8)
学術論文	la gravite et l'eau. - Dialogue avec un patient atteint de la SLA	yasuhiko murakami	2012/1/1	Annales de phenomenologie	vol.11, 169-179
学術論文	眩暈と不眠ーレヴィナスと精神病理学	村上靖彦	2012/2/1	現代思想	vol.40-3, 224-237
国際会議 (proceedings なし)	«Phenomenologie de l'Eros » et le soin du patient atteint de maladie grave	yasuhiko murakami	2011/5/1		
国際会議 (proceedings なし)	Gravity and Water - Dialog with ALS Patient's Body	yasuhiko murakami	2011/5/1		
国際会議 (proceedings なし)	Phenomenologie de l'action - en partant des soins du patient atteint de la maladie grave	yasuhiko murakami	2011/7/1		

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings なし)	Cadavre et Femme	yasuhiko murakami	2011/11/1		
国際会議 (proceedings なし)	Le fantome et les femmes. Levinas et les soins palliatifs	yasuhiko murakami	2011/11/1		
会議報告/口頭発表	メルロ＝ポンティの制度論と看護の時間性	村上靖彦	2011/9/1		
会議報告/口頭発表	がんの緩和医療を専門とする看護師 C さんへのインタビューから	村上靖彦	2011/11/1		
会議報告/口頭発表	「生と死の境目における対人関係＝看護師へのインタビューから」	村上靖彦	2011/12/1		
大学・研究所等の報告	“La communication avec les patients en état végétatif – l’affection d’appel potentielle et la télépathie transcendante pure”	yasuhiko murakami	2011/5/1		
その他	どうして生き物を殺しちゃいけないの？	村上靖彦	2011/4/1	チャイルドヘルス	14(4), pp. 26-27
その他	【対談】外傷と病理の哲学へ	合田正人、村上靖彦	2012/1/1	現代思想	vol.40-3, 35-59
その他	【翻訳】『パーソナリティ障害：診断と治療のハンドブック』第4章「境界性人格障害」担当	レン・スペリー	2012/1/1		98-131

所属： 人間学系 氏名： 中川 敏

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 20 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件）、修士（主査 2 件、副査 3 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 5 名、前期課程 6 名、副指導教員：後期課程 7 名、前期課程 5 名）、卒業研究指導学生数 23 名、留学生 4 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 1 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	豚と発動機---開発の中の信用と信頼	中川敏	2012/3/1	コンフリクトから問う---その方法論的検討	3--16
会議報告/口頭発表	How to Count Pigs in Ende	Satoshi Nakagawa	2011/7/1		

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 3 件、副査 5 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 4 名、副指導教員：後期課程 6 名、前期課程 4 名）、卒業研究指導学生数 9 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（外国人招へい研究員として海外から博士後期課程 2 名を受け入れ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 5 件、国際会議 3 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	「民族誌機械:ポストプルーリズムの実験」春日直樹編『現実批判としての人類学』	森田敦郎	2011/11/1	世界思想社	96-120 頁
著書	『野生のエンジニアリング:タイ中小工業における人とモノの人類学』	森田敦郎	2012/2/1	世界思想社	
学術論文	Rethinking Technics and the Human: An Experimental Reading of Classic Texts on Technology.	Morita, Atsuro	2012/2/1		40-58.
国際会議 (proceedings なし)	Translational Movements: An Introduction	Morita, Atsuro and Gergely Mohacsi	2012/3/1		
会議報告/口頭発表	Veins: Industrial Metabolism, Secondary Resource Trade and Environmental Infrastructures in Japan and Thailand	Morita, Atsuro	2011/6/1		
会議報告/口頭発表	Shaping Floods: Layered Infrastructures for Water Management and Hydrological Simulation in Chao Phraya Basin	Morita, Atsuro	2011/9/1		

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 17 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 3 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 4 名、前期課程 1 名、副指導教員：
 後期課程 2 名、前期課程 4 名）、卒業研究指導学生数 3 名、留学生 0 名、
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 3 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 3 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	冗長な口頭説明はどのようにメモされ伝達されるのか	三宮真智子, 吉倉和子	2012/3/1	大阪大学教育学年報	17号, 15-30
国際会議 (proceedings なし)	The detrimental effects of part-set cueing on false recall: The role of list structure	Atsuo Kawaguchi, Masanobu Takahashi, Machiko Sannomiya	2011/8/1	ICOM5 Abstracts	130
会議報告/口頭発表	大学生におけるレポート観の予備的検討	西森章子, 三宮真智子	2011/7/1	日本教育心理学会第53回総会発表論文集	P3-08
会議報告/口頭発表	協同学習の質を高めるには何が必要か — 深い理解に至らない原因とその対処法を考える —	植阪友里, 瀬尾美紀子, 小林寛子, 三宮真智子, 篠ヶ谷圭太	2011/7/1	日本教育心理学会第53回総会発表論文集	26-J-02
会議報告/口頭発表	大学生における創造観に関する探索的調査	山口洋介, 三宮真智子	2011/7/1	日本教育心理学会第53回総会発表論文集	P4-17
解説・総説	ママのためのふち心理学「歪められたうわさが広まるのはなぜ？」	三宮真智子	2011/6/1	Happy-Note	夏号 Vol.27, 69
解説・総説	ママのためのふち心理学「落ち込みから抜け出すには」	三宮真智子	2011/9/1	Happy-Note	秋号 Vol.28, 61
解説・総説	ママのためのふち心理学「怖がる気持ちはどこから？」	三宮真智子	2011/11/1	Happy-Note	冬号 Vol.29, 49
解説・総説	ママのためのふち心理学「心の安全基地」	三宮真智子	2012/3/1	Happy-Note	春号 Vol.30, 31

所属： 教育学系 氏名： 藤岡 淳子

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査 件）、修士（主査5件、副査 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程2名、前期課程9名、副指導教員：後期課程 名、前期課程 名）、卒業研究指導学生数5名、留学生 名、研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 件、学術論文3件、国際会議3件、会議報告 件、大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 28 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 2 件、副査 5 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 5 名、前期課程 7 名、副指導教員：後期課程 8 名、前期課程 13 名）、卒業研究指導学生数 4 名、留学生 2 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 0 件、国際会議 1 件、会議報告 4 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	A psychological factor related to the distress of "Hitori Koudou" in the Japanese undergraduates.	Kataoka, I. & Sasaki, J.	2011/7/1	Poster presented at 3rd Asian Cognitive Behavioral Therapy Conference (ACBTC2011)	
会議報告/口頭発表	「治療関係に配慮した認知行動療法の活かし方」への指定討論	佐々木淳	2011/9/1	日本認知療法学会第 11 回大会発表論文集	
会議報告/口頭発表	社会不安/対人恐怖概念の「これまで」と「これから」. 「社会不安・対人恐怖の理論モデルとその実像」への話題提供	佐々木淳	2011/9/1	日本心理学会第 75 回大会(日本大学)発表論文集	
会議報告/口頭発表	「臨床現場における認知行動療法: パーソナリティへの理解を踏まえて」への指定討論	佐々木淳	2011/9/1	日本心理臨床学会第 30 回大会発表論文集	
会議報告/口頭発表	海外への情報発信: その苦勞と対策. 大会企画パネルディスカッション「私はこのように海外へ情報発信してきた. このように海外で実践を学んできた: 若手研究者・実践家に送るメッセージ」のパネラー	佐々木淳	2011/11/1	日本行動療法学会第 37 回大会(東京家政大学)発表論文集	78

所属： 教育学系 氏名： 野村 晴夫

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 3 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査 件）、修士（主査 件、副査4件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 名、前期課程 名、副指導教員：
後期課程 名、前期課程 名）、卒業研究指導学生数 名、留学生 名、
研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書2件、学術論文 件、国際会議 件、会議報告2件、
大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

所属： 教育学系 氏名： 大谷 和大

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 0 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 件、大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	学業における自己価値の随伴性が内発的動機づけ低下に及ぼす影響プロセス—状態的自尊感情と失敗場面の感情を媒介として—	大谷和大・中谷素之	2011/4/1	パーソナリティ研究	19 巻 206-216 頁

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 21 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 3 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 6 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 5 名、前期課程 4 名、副指導教員：後期課程 3 名、前期課程 6 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 1 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	人権教育・啓発に関する基本計画の改定案(第1次案)	平沢安政他	2011/6/1	(社)部落解放・人権研究所	
著書	平沢安政編著『人権教育と市民力ー「生きる力」をデザインする』、「ジェンダーの視点からの教育」	木村涼子	2011/8/1	解放出版社	
著書	人権文化の創造・人権のまちづくりについて	平沢安政	2011/12/1	京都府人権啓発推進室	
著書	競合するジャスティス---ローカリティ・伝統・ジェンダー	牟田和恵, 平沢安政, 石田慎一郎, 友枝敏雄, 山本ベバリーアン, 木村涼子, 玉城福子他	2012/3/1	大阪大学出版会	
編著書	「総論 これからの人権教育創造に向けて」平沢安政編『人権教育と市民力ー「生きる力」をデザインする』	平沢安政	2011/8/30	解放出版社	8-28
編著書	「日本の人権教育と道德教育をめぐるコンフリクトー人権的価値と道德的価値に関する一考察」牟田和恵・平沢安政・石田慎一郎編『競合するジャスティスーローカリティ・伝統・ジェンダー』(叢書コンフリクトの人文第3巻)	平沢安政	2012/3/30	大阪大学出版会	161-183
学術論文	「「普遍的な視点」と「個別的な視点」の統合ー効果的な人権教育・啓発の推進に向けて	平沢安政	2011/11/1	『部落解放研究』No.193	9-18

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
解説・総説	土地差別調査問題について	平沢安政	2011/12/1	京都新聞	2011年 12月1日 朝刊9面
その他	研究部の取り組み	平沢安政	2011/4/1		

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
2011/11/1	平沢 安政	文化の日の表彰(大阪府社会教育委員)	大阪府教育委員会

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 4 件）、修士（主査 1 件、副査 4 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 2 名、副指導教員：
 後期課程 5 名、前期課程 3 名）、卒業研究指導学生数 4 名、留学生 3 名、
 研究生 3 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 5 件、学術論文 件、国際会議 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 件、解説・総説 7 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	「ジェンダーの視点からの教育」平沢安政編『人権教育と市民力』所収	木村涼子	2011/8/1	解放出版社	pp.56-73
著書	「ジェンダー・バッシングの再検討」吉岡齊責任編集『新通史 日本の科学技術 世紀転換期の社会史』第三巻所収	木村涼子	2011/10/1	原書房	pp.433-441
著書	「ポップカルチャーをジェンダーの視点で考える」北九州市立男女共同参画センタームー部編『ジェンダー白書8 ポップカルチャーとジェンダー』所収	木村涼子	2012/3/1	明石書店	pp.5-18
著書	「日本における平和教育とジェンダー」牟田和恵他編『コンフリクトの人文科学 叢書Ⅲ 競合するジャスティス』所収	木村涼子	2012/3/1	大阪大学出版会	
著書	Peace education in Japan and Gender, Muta,K. and Yamamoto,B.(eds) Gender Politics of War Memory: The Asia-Pacific and Beyond,	Kimura Ryoko	2012/3/1	大阪大学出版会	
著書	競合するジャスティス---ローカリティ・伝統・ジェンダー	牟田和恵, 平沢安政, 石田慎一郎, 友枝敏雄, 山本ベバリーアン, 木村涼子, 玉城福子他	2012/3/1	大阪大学出版会	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
評論・解説など	「国際的なジェンダー平等教育の流れと日本」解放教育研究所編『解放教育』522号	木村涼子	2011/5/1	明治図書	pp.7-13
評論・解説など	いま、ジェンダーやセクシュアリティについて学ぶ必要性」『高校生活指導』2011年夏季号189号	木村涼子	2011/6/1	青木書店	pp.66-73
評論・解説など	「共学大学の入試に女子のみ定員枠を設けることは差別か」『ヒューマンライツ』281号	木村涼子	2011/8/1	部落解放人権研究所	pp.42-48
評論・解説など	「大学教育と人権尊重の視点」『ヒューマンライツ』283号	木村涼子	2011/10/1	部落解放人権研究所	pp.36-41
評論・解説など	「近代日本におけるジェンダー秩序と婦人雑誌を考える旅」『女性文化研究所紀要第39号』	木村涼子	2012/3/1	昭和女子大学女性文化研究所	
その他	共学大学の入試に女子のみ定員枠を設けることは差別か？	木村涼子	2011/8/1	ヒューマンライツ	281号
その他	大学教育と人権尊重の視点 京都教育大学「性暴力」事件判決を考える	木村涼子	2011/10/1	ヒューマンライツ	283号

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
2011/6/1	木村涼子	第3回昭和女子大学女性文化研究賞	昭和女子大学
2011/8/1	木村涼子	第32回日本出版学会賞	日本出版学会

所属： グローバル人間学系 氏名： 中村 安秀

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： _____ 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 8 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 17 名、前期課程 9 名、副指導教員：
 後期課程 0 名、前期課程 14 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 6 名、
 研究生 1 名、その他（ _____ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 5 件、学術論文 4 件、国際会議 7 件、会議報告 0 件、
 大学等の報告 11 件、解説・総説 5 件、書評 0 件、その他（ _____ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	グローバル人間学の世界	中村安秀・河森正人編集	2011/4/1	大阪大学出版会	難民と人道支援—共感と連帯を求めて。
著書	小児科学 改訂第 10 版	五十嵐 隆編集	2011/4/1	文光堂	母子手帳の意義
著書	国際ボランティア論	内海成治・中村安秀編集	2011/4/1	ナカニシヤ出版	青年海外協力隊をめぐって。一滴の絵の具—青年海外協力隊員報告書からの学び。
著書	医療ツーリズム	水巻中正編集	2011/8/1	医薬ジャーナル社	医療通訳の現状と課題。
学術論文	Re-invigorating Japan's commitment to global health: challenges and opportunities.	Rayden Llano, Sayako Kanamori, Osamu Kunii, Rintaro Mori, Teiji Takei, Hatoko Sasaki, Yasuhide Nakamura, Kiyoshi Kurokawa, Yu Hai, Lincoln Chen, Keizo Takemi, Kenji Shibuya.	2011/9/1	The Lancet	58-67

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
解説・総説	東日本大震災で被災した方々の健康を守る	中村安秀	2011/7/1	目で見えるWHO	45号
解説・総説	世界からの支援を受けて、地元の力を生かす	中村安秀	2011/8/1	外交	8号
解説・総説	東日本大震災、小児科医に求められていること	中村安秀	2011/8/1	東京小児科医会報	30巻1号
解説・総説	医療通訳の現状と課題	中村安秀	2011/8/1	日本医事新報	4567号
解説・総説	健康なアフリカ社会をめざして	中村安秀	2011/9/1	目で見えるWHO	

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 8 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 14 名、副指導教員：後期課程 5 名、前期課程 6 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 15 名、研究生 2 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 1 件、国際会議 2 件、会議報告 7 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	グローバル人間学の世界(第1章、教育と国際開発—アフリカ地域の初等教育を中心として—)	澤村信英(中村安秀・河森正人編)	2011/4/1	大阪大学出版会	19-31
著書	国際ボランティア論(第7章 世界の国際ボランティア—アメリカ)	澤村信英(内海成治・中村安秀編)	2011/4/1	ナカニシヤ出版	116-128 頁
学術論文	ケニアの小学校における学校文化—生徒・教師間のダイナミクスに注目して—	伊藤瑞規・澤村信英	2011/4/1	国際教育協力論集	14巻1号、1-14 頁
国際会議 (proceedings あり)	Vulnerable children and primary schools in Kenya: Interviews with the students who experienced child labor and harmful cultural practices	SAWAMURA, N. and Baisho, Y.	2011/9/1		p.20
国際会議 (proceedings あり)	Understanding the Role of Teachers on Health Education and Promotion among Primary School Children in Narok District, Kenya	Calvin des los Reyes and Nobuhide Sawamura	2011/11/1		
会議報告/口頭発表	ケニアにおいて小学校を中途退学した少女の現在—学校教育が彼女に残したもの—	澤村信英	2011/4/1		29 頁
会議報告/口頭発表	ケニアの困難な状況にある子どもと小学校のかかわり—児童労働と伝統慣習に向き合う生徒の語りから—	澤村信英・倍賞佑里	2011/5/1		35 頁

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	東・南部アフリカの社会変容と学校教育(ラウンドテーブル)	澤村信英・内海成治・小野由美子・大場麻代・北川智佳子・川口純・小澤大成	2011/6/1		
会議報告/口頭発表	ケニアにおいて学校教育の機会を得ることの意味—人びとのライフストーリーから読み解く—	澤村信英	2011/6/1		158 頁
会議報告/口頭発表	ナイロビのスラムに住む家族からみた学校教育の価値—生活感のあるアフリカ教育研究をめざして—	澤村信英	2011/10/1		31 頁
会議報告/口頭発表	ケニアの貧困家庭からみた学校教育の価値—スラムに住む家族の生活から—	澤村信英	2011/11/1		
会議報告/口頭発表	ケニアの小学校教師によるコミュニティ支援活動—有害な文化的慣習に抗う少女を守る—	澤村信英・高柳妙子	2012/2/1		

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査 件）、修士（主査 2 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 名、前期課程 3 名、副指導教員：
 後期課程 1 名、前期課程 4 名）、卒業研究指導学生数 名、留学生 名、
 研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 件、学術論文 2 件、国際会議 2 件、会議報告 4 件、
 大学等の報告 1 件、解説・総説 2 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	国際協力の新しい分野ースポーツを通じた開発ー	岡田千あき	2011/4/1	大阪大学人間科学研究科グローバル人間学専攻	214-228 頁
学術論文	開発途上地域におけるスポーツを通じた社会開発ーカンボジアの事例検証ー	Chiaki Okada, Kevin Young	2011/12/1	日本運動・スポーツ科学学会	第 17 巻, 第 1 号, 91-99 頁
学術論文	Sport and Social Development: Promise and Caution from an Incipient Cambodian Football League	Chiaki Okada, Kevin Young	2012/2/1	International Review for the Sociology of Sport	Vol.47, No.1, P.5-26
国際会議 (proceedings あり)	Circle Games: Cambodian Reflections on Sport and Social Development	Kevin Young, Chiaki Okada	2011/7/1		
国際会議 (proceedings あり)	Sport in Post Disaster Circumstances -After the earthquake and Tsunami in Northern Japanー	Chiaki Okada	2011/7/1		
会議報告/口頭発表	カンボジアのスポーツ発展への取組みーボルボト時代を生きたサッカー選手のライフストーリーから	岡田千あき	2011/6/1		
会議報告/口頭発表	スポーツを通じた国際社会開発ーカンボジアの事例検証ー	岡田千あき	2011/6/1		
会議報告/口頭発表	開発途上国のスポーツ教育事情に関する研究ー青年海外協力隊の派遣動向に着目してー	齊藤一彦、渡部隼二、岡田千あき	2011/9/1		
会議報告/口頭発表	野球普及活動と HIV/エイズ教育 in ジンバブエ	岡田千あき	2012/1/1		

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
大学・研究所等の報告	連携活動事例集－野球の普及活動とともに HIV/AIDS 啓発活動も実施－	岡田千あき	2012/2/1	クロスロード	第 48 巻, 第 3 号, 20 頁
解説・総説	生きる喜びを見つけるサッカーの旅－ホームレスワールドカップ・パリ大会	岡田千あき	2011/11/1	体育科教育	第 59 巻第 12 号
解説・総説	世界が期待するスポーツの豊かな可能性－『スポーツを通じた開発』のムーブメント－	岡田千あき	2012/3/1	体育科教育	第 60 巻, 第 3 号, 20-23 頁

所属： グローバル人間学系 氏名： 千葉 泉

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 12 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査1件）、修士（主査1件、副査5件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程1名、前期課程3名、副指導教員：後期課程2名、前期課程4名）、卒業研究指導学生数11名、留学生1名、研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 件、学術論文 件、国際会議 件、会議報告 件、大学等の報告2件、解説・総説 件、書評 件、その他（CD および DVD それぞれ 1 件、計 2 件を発表）

(3) 受賞・特許・作品、他

発表年月	製作者名	作品名	発表場所
2011/5/1	千葉 泉	DVD「それでも桜は咲く」	海工房
2011/7/1	千葉 泉	CANTOS LATINOAMERICANOS II(ラテンアメリカの歌 II)	<サントリー文化財団「資本主義再考」研究会>、スタジオ73(高槻市)、平成 21 年 11 月 20 日
2011/11/1	千葉 泉	「希望の歌」(CD)	希望企画

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査1件）、修士（主査 件、副査1件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程1名、前期課程2名、副指導教員：
 後期課程 名、前期課程2名）、卒業研究指導学生数3名、留学生 名、
 研究生1名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書3件、学術論文2件、国際会議 件、会議報告 件、
 大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	グローバル人間学の世界	中村安秀・河森正人編	2011/4/1	大阪大学出版会	52～69 頁
著書	『思考するヒロシマへー性暴力・ジェンダー・法』	高雄きくえ編	2011/6/1	ひろしま女性学研究所	28～38 頁
著書	“ <i>The Gender Politics of War Memory:Asia-Pacific and Beyond</i> ”,	Muta Kazue and Beverley Anne Yamamoto ed	2012/3/1	Osaka University Press	114～132 頁
学術論文	WIDF の朝鮮戦争真相調査団に参加した女性たちー鉄のカーテンを越えて	藤目ゆき	2012/1/1	『アジア現代女性史』第7号	44～51 頁
学術論文	モニカ・フェルトンと WIDF の朝鮮戦争真相調査団	藤目ゆき	2012/1/1	『アジア現代女性史』第7号	70～96 頁

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 23 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 2 名、副指導教員：
 後期課程 1 名、前期課程 5 名）、卒業研究指導学生数 6 名、留学生 2 名、
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 6 件、学術論文 8 件、国際会議 1 件、会議報告 4 件、
 大学等の報告 1 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	「グローバル化する環境問題への挑戦-文理融合研究の新たな可能性-」『グローバル人間学の世界』	三好恵真子 (中村安秀・河森正人 編)	2011/4/1	大阪大学出版会	
著書	Rheological and Thermal Studies on the Sol-Gel Transition of Gellan Gum and Mixed Polysaccharides	Miyoshi,E.	2011/5/1	Osaka University Knowledge Archive	
著書	『ベトナムの就学前児童の肥満の現状とその対策に向けた食育実践』	三好恵真子	2011/12/1	平成22年度ヒューマンサイエンスプロジェクト研究成果報告書	
著書	絡議如何構建中国食品的風險溝通:以中国速凍餃子中毒事件為例考証食品安全性與消費者安心感和信任感之間的關係(江沛, 許育銘, 田中仁 編集)『現代中国社会變動與東亞新格局』	三好恵真子	2012/3/1	社会科学文献出版社	
著書	『共進化する現代中国研究—地域研究の新たなプラットフォーム』	田中仁・三好恵真子(編)	2012/3/1	大阪大学出版会	
著書	「理想化される女性の身体像—自己対象化から考察するスリム・ダイエット志向—」『着衣する身体と女性の周縁化』	三好恵真子 (武田佐知子 編)	2012/3/1	思文閣出版	

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	「第5章人間の安全保障:中国の環境問題をどう捉えるべきか:サステナビリティ学の実践的展開を目指して」『共進化する現代中国研究—地域研究の新たなプラットフォーム』	三好恵真子 (田中仁・三好恵真子 編)	2012/3/1	大阪大学出版会	
著書	「終章:21世紀東アジアにおける人間の安全保障構築に向けて」『共進化する現代中国研究—地域研究の新たなプラットフォーム』	三好恵真子 (田中仁・三好恵真子 編)	2012/3/1	大阪大学出版会	
学術論文	如何認識中国的環境問題:如何在實踐中应用人類安全保障概念與可持續發展学	三好恵真子	2011/4/1	中国韓州『韓南師範学院学报』	Vol.32
学術論文	中国の重金属汚染土壌の現状と今後の対策に向けて—日本の歴史的射程から得られた教訓と最新技術開発の展望を踏まえて	姉崎正治, 三好恵真子	2011/4/1	Osaka University Knowledge Archive	2011.4.1-24
学術論文	集積する都市電子廃棄物による中国の環境問題並びにそれに連動する技術開発	三好恵真子	2011/8/1	第五回「現代中国と東アジアの新環境:百年中国と周辺地域」国際学術シンポジウム論文集(周太平・包文勝編)	pp.174-187
学術論文	集積する都市電子廃棄物による中国の環境問題並びに希少金属回収に関する技術開発	三好恵真子	2011/9/1	大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー	No.2011-11, 1-16
学術論文	集積する都市電子廃棄物による中国の環境問題並びに希少金属回収に関する技術開発	三好恵真子	2011/10/1	Osaka University Knowledge Archive	2011.10.1-16
学術論文	先人の知恵の結晶を未来へ活かす—独創的な文理融合研究による環境汚染改善への挑戦—	三好恵真子, 姉崎正治	2011/12/1	New Food Industry	Vol.53, No.12, pp.69-79.
学術論文	Structural Changes of Aqueous Environment Surrounding Water Soluble or Insoluble Polysaccharides	Miyoshi,E.	2012/3/1	Bulletin by Graduate School of Human Sciences	Vol.38, 105-127

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	都市鉱山開発に関する実践的研究ー使用済み携帯電話の破碎特性に関する基礎的検討ー	姉崎正治, 三好恵真子	2012/3/1	大阪大学人間科学紀要	第 38 号, 129-153
国際会議 (proceedings あり)	The Underbelly of Globalization: Transboundary Movements of Electronic Waste and Our New Technical Development	Miyoshi,E.	2011/8/1	The Fifth International Symposium: Social Change of Contemporary China and New Challenge of East Asia	Proceedings
会議報告/口頭発表	中国の食の安全・安心	三好恵真子	2011/6/1	日本現代中国学会・関西部会 2011 年度大会「安全・安心・安定ー現代中国の課題群 2011ー」	配付資料
会議報告/口頭発表	都市鉱山からのレアメタル回収技術開発に直結した基礎研究	三好恵真子, 姉崎正治	2011/10/1	第 59 回レオロジー討論会	第 59 回レオロジー討論会予稿集掲載
大学・研究所等の報告	ベトナムの就学前児童の肥満の現状とその対策に向けた食育実践	三好恵真子	2011/12/1	平成 22 年度ヒューマンサイエンスプロジェクト成果報告会	配付資料
その他	中古携帯電話の金属濃縮型破碎装置の開発並びにそれを活用したレアメタル備蓄システム構築への実践的試行	三好恵真子, 姉崎正治, 福廣匡倫	2011/6/1	平成23年度第1回希少金属資源開発推進基盤整備委託事業技術調査委員会, 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)	関連資料
その他	都市鉱山(廃棄携帯電話)開発に関する共同研究	三好恵真子, 姉崎正治 晃立工業(株)	2011/9/1	第7回しんきんビジネス交流会(開発技術展示), CONVEX 岡山	新規開発技術展示, 関連資料

所属： グローバル人間学系 氏名： 河森 正人

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 23 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 5 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 0 名、副指導教員：
 後期課程 4 名、前期課程 4 名）、卒業研究指導学生数 6 名、留学生 0 名、
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 0 件、国際会議 2 件、会議報告 2 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	「生活の安心・保障とコミュニティの『つながり』—その関係を問い直す」、中村安秀・河森正人編『グローバル人間学の世界』	河森正人	2011/4/1	大阪大学出版会	
著書	「グローバル人間学とは何なのだろうか」、中村安秀・河森正人編『グローバル人間学の世界』	河森正人	2011/4/1	大阪大学出版会	
国際会議 (proceedings あり)	The Role of Communities in Thailand's Healthcare Reform	Masato Kawamori	2011/5/1	ASEAN Barometer Conference, University of Tokyo	
国際会議 (proceedings あり)	Social Security and Community Care for Aged People in Thailand	Masato Kawamori	2011/10/1	Green and Life in ASEAN: Coexisting and Sustainability in East Asian Connections, Kyoto University	
会議報告/口頭発表	「タイ農村部における医療・福祉・生活保障の拡充と課題」	河森正人	2011/11/1	「東南アジア諸国の医療制度」(政策研究大学院大学)	
会議報告/口頭発表	「介護保障とその担い手—日本とタイ」	河森正人	2012/2/1	「東アジアの生活保障」(東京大学社会科学研究所)	

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
2011/7/1	河森正人	大阪大学功績賞(研究部門)	大阪大学

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： _____ 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査_____件、副査_____件）、修士（主査_____件、副査_____件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程_____名、前期課程_3_名、副指導教員：
 後期課程_1_名、前期課程_3_名）、卒業研究指導学生数_____名、留学生_4_名、
 研究生_2_名、その他（ _____ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書_6_件、学術論文_1_件、国際会議_6_件、会議報告_3_件、
 大学等の報告_____件、解説・総説_____件、書評_____件、その他（ _____ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	「グローバルヘルス」第2章(32-51頁)『グローバル人間学の世界』中村安秀・河森正人(編)	大谷順子	2011/4/1	大阪大学出版会	
著書	'Discourse of Kodokushi (dying alone) with Japanese perspectives' pp.105-114, IN 'Exploring Issues of Care, Dying and the End of Life' edited by Sue Steele & Glenys Caswell	Junko Otani	2011/5/1	InterDisciplinary Net(eBook)	
著書	「HIV/エイズ,SARS 感染症, 自然災害(震災)」(第2章: 49-79頁) 『アジアの非伝統的安全保障 1 総合編』天児慧編 早稲田大学グローバル COE プログラム『アジア地域統合講座』	大谷順子	2011/11/1	勁草書房	第2章 49-79
著書	'Ageing Society, Health Issues and Disaster: Assessing 3/11'(Ch.15) In: "Natural Disaster and Nuclear Crisis in Japan: Response and Recovery after Japan's 3/11" Jeff Kingston (ed.), Oxford Univ Nissan Inst/ Routledge Japanese Studies Series	Junko Otani	2012/2/1	London: Routledge: Taylor & Francis Group	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	「世界3大感染症—エイズ・結核・マラリア」(第7章)『テキスト国際人間開発論』勝間靖(編)129-149頁	大谷順子	2012/3/1	ミネルヴァ書房	
著書	「中国の経済成長期におけるコンフリクト—グローバル化における環境、災害、健康、人口分野を事例として」『コンフリクトの人文学』第5号,147-176頁,大阪大学グローバルCOEプログラム コンフリクトの人文学国際研究教育拠点(編集)	大谷順子	2012/3/1	大阪大学出版会	
学術論文	「中国の災害復興政策—四川大地震から三年目の検証—」	大谷順子	2012/3/1	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	第38号 39-58頁
国際会議 (proceedingsあり)	Disaster and International cooperation	Junko Otani	2011/10/1	第11回大阪大学フォーラム, 上海, 2011年10月27-28日	
国際会議 (proceedingsあり)	“Ageing Society and the 2011 Great East Japan Earthquake”	Junko Otani	2011/11/1	The 7th APRU (Asia Pacific Rim University) Research Symposium on multi-hazards around the Pacific Rim, University of Auckland, New Zealand, 24-26 November, 2011	
国際会議 (proceedingsあり)	「混合研究法入門 — 質的と量的の比較を交えて」	大谷順子	2011/11/1	ミニシンポジウム(9)「QDAソフトウェアによる質的研究の実践—NVivoを用いた質的データ分析を始めるために—」2011年度 第52回日本熱帯医学会大会・第26回日本国際保健医療学会学術大会合同大会 2011年11月4日(金)~6日(日) 東京大学本郷キャンパス	
国際会議 (proceedingsあり)	『東北地方太平洋沖地震及び非伝統的国家安全保障』基調講演	大谷順子	2011/11/1	国際シンポジウム『東北地方太平洋沖地震及び非伝統的国家安全保障』基調講演 国立中山大学日本研究センター、2011年11月12-13日(台湾高雄市)	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	「被災地仮設住宅および復興住宅におけるコミュニティ形成について—1995年阪神淡路大震災・2005年福岡西方沖地震・2008年四川大地震・2011年東日本大震災の比較を交えて」	大谷順子	2011/12/1	日中社会学会・北京日本学研究中心・国際交流基金「知的交流会議助成プログラム」国際円卓会議シリーズ 東日本大震災とその後—災害・復興・防災の日中比較を通じた新しい社会の模索 第2回「東日本大震災とソーシャル・キャピタル—信頼・規範・ネットワークの視点から」2011年12月24日(北京日本学研究中心)	
国際会議 (proceedings あり)	'Ageing Society and Post-Disaster Community Security'	Junko Otani	2012/2/1	Research Meeting on "Human Security and Natural Disasters", United Nations University(UNU)Institute for Sustainability and Peace, 20-22 February 2012. 国連大学サステイナビリティと平和研究所「人間の安全保障と自然災害」	
会議報告/口頭発表	Older people in Earthquake in Japan - Experiences from Kobe 1995 and from Tohoku 2011	Junko Otani	2011/6/1	国立臺灣大学公共衛生學院健康政策與管理研究所(台北市)および、国立成功大學醫學院、成功大學老年學研究所、成功大學公共衛生研究所(台南市)(台湾国家科研費 NPCにより招聘)公開講座	
会議報告/口頭発表	「人間の安全保障の観点からみた震災」震災復興フォーラム『3.11を振り返り災害復興・防災の課題を考える』	大谷順子	2012/3/1	2012年3月10日、大阪大学国際公共政策研究科・大阪大学グローバルコラボレーションセンター	
会議報告/口頭発表	「震災復興の比較分析(四川と東北を中心に)」阪大上海シンポジウム「東日本大震災からの復興の現状と未来への教訓」	大谷順子	2012/3/1	2012年3月24日、大阪大学上海教育研究センター、共催:大阪大学国際公共政策研究科・大阪大学グローバルコラボレーションセンター	

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 6 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 名、前期課程 名、副指導教員：後期課程 名、前期課程 名）、卒業研究指導学生数 名、留学生 名、研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 3 件、学術論文 0 件、国際会議 4 件、会議報告 1 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	「越境するコミュニティと共同性——台湾華僑ムスリム移民の「社会」と「共同体」」平井京之介編『実践としてのコミュニティ——移動・国家・運動』	木村自	2012/2/1	京都大学学術出版会	
著書	「中国における『民族』論の今日的展開——『族群』の政治性・『民族』の可塑性」田中仁・三好恵真子編『共進化する現代中国研究——中国地域研究の新たなプラットフォーム』	木村自	2012/3/1	大阪大学出版会	185-204 頁
著書	「フエ・フォンヴィン社旧外港集落の天后宮と閩聖殿の調査基礎報告」西村昌也他編『フエ地域の歴史と文化——周辺集落と外からの視点(周縁の文化交渉学シリーズ 7)』	野間晴雄, 西村昌也, 篠原啓方, 佐藤実, 岡本弘道, 木村自, 氷野善寛ほか	2012/3/1	関西大学文化交渉学教育研究拠点	293-319 頁
著書	「『掌握』する国家、『ずらす』移民 李大媽のライフ・ストーリーから見た身分証とパスポート」陳天璽他編『移民とアイデンティフィケーション』新曜社	木村自	2012/3/1	新曜社	134-163 頁
著書	「輩行字(通字)の多様性が示すもの——フエ・フォンヴィン社に居住する中国系住民の命名法を事例として」西村昌也他編『フエ地域の歴史と文化——周辺集落と外からの視点(周縁の文化交渉学シリーズ 7)』	木村自	2012/3/1	関西大学文化交渉学教育研究拠点(ICIS)	249-266 頁

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	「移民與邊界:19世紀末年至20世紀初期上緬甸中國穆斯林移民為例」『「現代中国と東アジアの新環境——百年中国と周辺地域」研究教育ワークショップ』於内蒙古大学、呼和浩特(フフホト)	木村自	2011/8/1		
国際会議 (proceedings なし)	LANDSCAPES OF DIASPORA: Ethnic and Religious Landscapes of Yunnanese Muslims in a Transnational Social Sphere	KIMURA Mizuka	2011/4/1	AAS -ICAS Joint Conference	
国際会議 (proceedings なし)	Producing a Locality in Multi Dimensional Ways: the Case of the Yunnanese Muslims Diaspora in Myanmar and Taiwan.	KIMURA Mizuka	2011/6/1	The International Society for the Studies of Chinese Overseas (ISSCO) at The Chinese University of Hong Kong.	
国際会議 (proceedings なし)	中国ムスリムのイスラーム教育を支える仕組み——雲南省巍山県の事例から	木村自	2011/7/1	渋沢栄一記念財団寄附・次世代国際フォーラム 世界の中の東アジア——多元文化交渉の諸相	
その他	グローバル人間学研究会開催報告	木村自	2012/3/1	グローバル人間学紀要	第4号、167-172頁

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 4 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 4 名）、卒業研究指導学生数 4 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 13 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	ニホンザルにおける稀にしか見られない行動に関するアンケート調査結果報告	中川尚史・中道正之・山田一憲	2011/12/1	霊長類研究	27:111-125
会議報告/口頭発表	ワカモノ期におけるニホンザルの母娘関係と成体との毛づくろい関係の形成	勝野吏子・山田一憲・中道正之	2011/6/1	第12回ニホンザル研究セミナー	発表予稿 No.7
会議報告/口頭発表	ニホンザルのワカモノ期における母娘関係が成体との毛づくろい関係に及ぼす影響	勝野吏子・山田一憲・中道正之	2011/7/1	第27回日本霊長類学会大会	霊長類研究, 27 (Supplement): P24
会議報告/口頭発表	勝山ニホンザル集団における毛づくろいの互惠性と催促行動の効果	上野将敬・山田一憲・中道正之	2011/7/1	第27回日本霊長類学会大会	
会議報告/口頭発表	母との密接さはワカモノ期ニホンザルメスの社会関係に影響するか？	勝野吏子・山田一憲・中道正之	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	1019
会議報告/口頭発表	発達加速の研究・その25－誕生の月に初潮の生起率は高まるのか－	日野林俊彦・加藤真由子・山田一憲・金澤忠博・赤井誠生・南徹弘	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	987
会議報告/口頭発表	ニホンザルメスの毛づくろいにおける互惠性と催促行動	上野将敬・山田一憲・中道正之	2011/9/1	日本心理学会第75回大会発表論文集	
会議報告/口頭発表	毛づくろいに伴う採食が毛づくろいの互惠性や継続時間に与える影響 —野外ニホンザル集団での予備調査報告—	大西賢治・山田一憲・中道正之	2011/9/1	動物心理学研究	61:237
会議報告/口頭発表	野生ニホンザル集団の毛づくろい交換における催促行動の働き	上野将敬・山田一憲・中道正之	2011/9/1	動物心理学研究	61:237

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	ニホンザルメス間での毛づくろいの互惠性における催促行動の働き	上野将敬・山田一憲・中道正之	2011/11/1	第4回日本人間行動進化学会大会	
会議報告/口頭発表	嵐山ニホンザル集団における0歳齢みなしごの社会関係の縦断的变化	鋤納 有実子・山田 一憲・中道 正之	2011/11/1	SAGA14	要旨集:P6
会議報告/口頭発表	京都市動物園におけるグレブーシマウマの生後16ヵ月間の母子関係	山元由実・伊藤英之・柳本博・松岡賢司・山田一憲・中道正之	2012/3/1	ず~だがや。動物園大学2 in 名古屋	要旨集:P17
会議報告/口頭発表	京都市動物園におけるマン드릴の生後16ヵ月間の行動発達	三谷彩夏・山本裕己・伊藤英之・高井進・山下直樹・山田一憲・中道正之	2012/3/1	ず~だがや。動物園大学2 in 名古屋	要旨集:P17
会議報告/口頭発表	霊長類の学習実験が動物園来園者の行動に与える影響	阪口耕平・山本裕己・松永雅之・伊藤二三夫・田中正之・山田一憲・中道正之	2012/3/1	ず~だがや。動物園大学2 in 名古屋	要旨集:P17

(1) 平成 23 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 2 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査____件、副査____件）、修士（主査____件、副査____件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程____名、前期課程____名、副指導教員：後期課程____名、前期課程____名）、卒業研究指導学生数____名、留学生 1 名、研究生____名、その他（ ）

(2) 平成 23 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書____件、学術論文____件、国際会議 1 件、会議報告____件、大学等の報告____件、解説・総説____件、書評____件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	Street smoking bans in Japan: a hope for smoke-free cities?	Ueda H, Armada F, Kashiwabara M, Yoshimi I	2011/9/1	Health Policy	102(1): pp.49-55
学術論文	老年学分野における GIS の活用－地図情報作成の簡便性と応用の可能性について－	上田博司	2012/3/1	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	38: pp.215-231.
会議報告/口頭発表	A Study On Relationship Between Occlusal Retention And Numbers Of Present Teeth And Diagnosis Of Disease Among The Elderly In A Japanese Prefecture	Ueda, H., Kanda, M., Yoshida, M., and Toyokawa, T.	2011/11/1		

(1) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	Osaka University Teaching Quality Handbook: A Guide to Best Practice in the Provision of Teaching and Assessment for Undergraduate Degree Programmes.	Beverley Yamamoto, Don Bysouth	2011/4/1	大阪大学	
学術論文	Collateral damage: An investigation of non-combatant teasing by American service personnel in occupied Iraq and Afghanistan.	Don Bysouth, Sohail Jeloos-Haghi, Keiko Ikeda	2012/3/1	Pragmatics & Society	Forthcoming
国際会議 (proceedings あり)	“Cmon. Tell us the truth”: Some features of the police interrogation of child suspects.	Susan Hansen, Don Bysouth	2011/7/1	Panel on Lying and Deception, 12th International Pragmatics Association Conference, University of Manchester, UK	
国際会議 (proceedings あり)	Accounts of lying and deception in the therapy session.	Don Bysouth, Keiko Ikeda	2011/7/1	Panel on Lying and Deception, 12th International Pragmatics Association Conference, University of Manchester, UK	
国際会議 (proceedings あり)	Discursively constructed modality in Japanese conversation: A case of group discussion.	Keiko Ikeda, Don Bysouth	2011/7/1	Workshop on “Acquisition of Modality”, School of Oriental and African Studies (SOAS), University of London, UK	
国際会議 (proceedings あり)	Attributions are for the making: A cross-cultural, multi-lingual discursive psychological reexamination of the Heider and Simmel attribution paradigm.	Don Bysouth, Keiko Ikeda, Susan Hansen, Joen Jongmi, Lianshu Cui, Tomoki Furukawa, Dakota Bysouth-Young	2012/3/1	Discourse-Communication-Conversation Conference, Loughborough University, UK	

(1) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
大学・研究所等の報告	大学における共有の空間——参加型公開研究イベント「ちっちゃい火を囲む」の取り組みから	久保田美生	2012/1/1	コンフリクトの人文文学ジャーナル	第4号
大学・研究所等の報告	火における日常と非日常の交差—ちび火の試み	久保田みお	2012/3/1	文化/批評横断するポピュラーカルチャー	臨時増刊号

(1) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	井上俊、菊幸一編著『よくわかるスポーツ文化論』(「賭け」の項執筆)	古川岳志	2012/1/20	ミネルヴァ書房	158-159
著書	セミナーレポート「ポピュラーカルチャーとしてのプロレス」	古川岳志	2012/3/20	『CULTURES/CRITIQUES 臨時増刊号横断するポピュラーカルチャー』、国際日本学研究会	157-164
学術論文	「ポピュラーなるものの横断性について——韓流ブームと在日スターたち」	古川岳志	2012/1/10	『コンフリクトの人文科学』第4号	243-264
会議報告/口頭発表	「スポーツとジェンダー・イメージ～女子競輪の「復活」を通して考える」	古川岳志	2011/6/26	日本スポーツ社会学会第20回大会(成蹊大学)	

(1) 著書・論文

分類(著書 ・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 ／掲載誌	巻号頁
著書	芸術は社会を変えるか？	吉澤弥生	2011/10/1	青弓社	

(1) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	新編 色彩科学ハンドブック 第3版 第9章第2節 色の知覚と認知	苧阪直行, 池田尊司, 他	2011/4/1	東京大学出版会	498-502
学術論文	Anterior medial prefrontal cortex exhibits activation during task preparation but deactivation during task execution	Koshino, H., Minamoto, T., Ikeda, T., Osaka, M., Otsuka, Y., & Osaka, N.	2011/8/1	PLoS ONE	6(8): e22909
学術論文	Dissociable neural activations of conscious visibility and attention	Tsubomi, H., Ikeda, T., Hanakawa, T., Hirose, N., Fukuyama, H., & Osaka, N.	2012/2/1	Journal of Cognitive Neuroscience	24(2):496-506
国際会議 (proceedings あり)	Motion implied by static line-drawing image of visual art activates the human motion-sensitive cortex: An fMRI study	Osaka, N., Matsuyoshi, D., Ikeda, T., & Osaka, M.	2011/8/1	Perception	40, Supplement, 16
会議報告/口頭発表	認知脳ロボティクスにおけるBMI・情動研究	山本知幸, 平田雅之, 池田尊司, 西尾修一, 松下光次郎, Alimardani Maryam, 石黒浩	2011/9/1	日本ロボット学会学術講演会予稿集	

(1) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings なし)	My experience of working in a robotics laboratory	Tora Koyama	2011/12/1		
会議報告/口頭発表	ロボット工学に対して哲学は何ができるか	小山虎,井頭昌彦	2011/9/1		
会議報告/口頭発表	どうして形而上学では実験哲学が流行らないのか	小山虎	2011/9/1		
会議報告/口頭発表	What is the real problem in creating a robot with a mind of its own?	Tora Koyama	2011/12/1		
会議報告/口頭発表	Robot's mind from a philosophical point of view	Tora Koyama	2012/3/1		

(1) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	Motion implied by static line-drawing image of visual art activates the human motion-sensitive cortex: An fMRI study	Osaka, N., Matsuyoshi, D., Ikeda, T., & Osaka, M.	2011/8/1	Perception	40, Supplement, 16